



2023年度 第1四半期（4-6月） 決算説明会【電話会議】

コマツ出席者

取締役（兼）専務執行役員CFO	堀越 健
執行役員経営管理部長	菱沼 聖史

2023年7月28日（金）

目次

I. 2023年度 第1四半期（4-6月）決算の概要 <P3-P10>

- P4-P5 : 2023年度 第1四半期（4-6月）の概況・セグメント売上高と利益
- P6-P7 : <建設機械・車両> 2023年度 第1四半期（4-6月）の状況
- P8 : <リテールファイナンス> 2023年度 第1四半期（4-6月）の状況
- P9 : <産業機械他> 2023年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益
- P10 : 連結貸借対照表

II. 2023年度の業績見通し <P11-P21>

- P12 : 2023年度の見通し（概要）
- P13-P18 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P19-P20 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P21 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P22-P30>

- P23-P27 : 四半期毎の状況
- P28-P30 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I. 2023年度 第1四半期（4-6月）決算の概要

2023年度 第1四半期（4-6月）決算の概況

- ・ 連結売上高は、前年同期比+17.8%増収の8,996億円。
- ・ 営業利益は、前年同期比+57.1%増益の1,470億円。売上高営業利益率は、+4.1ポイント上昇し16.3%。
- ・ 純利益は、前年同期比+31.0%増益の1,054億円。

金額単位：億円	2022年度4-6月 ¥127.1/USD ¥136.9/EUR ¥92.0/AUD	2023年度4-6月 ¥136.4/USD ¥147.7/EUR ¥89.9/ AUD	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	7,638	8,996	+1,357	+17.8%
セグメント利益	944	1,468	+524	+55.6%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 8	2	+10	-
営業利益	936	1,470	+535	+57.1%
売上高営業利益率	12.2%	16.3%	+4.1ポイント	-
その他の収益（▲費用）	189	11	▲ 178	-
税引前純利益	1,125	1,482	+357	+31.7%
当社株主に帰属する四半期純利益	805	1,054	+250	+31.0%

2023年度 第1四半期（4-6月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+18.4%増収の8,469億円。セグメント利益は、前年同期比+66.1%増益の1,384億円。セグメント利益率は、+4.7ポイント上昇し16.3%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+14.8%増収の229億円。セグメント利益は、前年同期比▲17.7%減益の63億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+17.1%増収の405億円。セグメント利益は、前年同期比▲45.4%減益の19億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

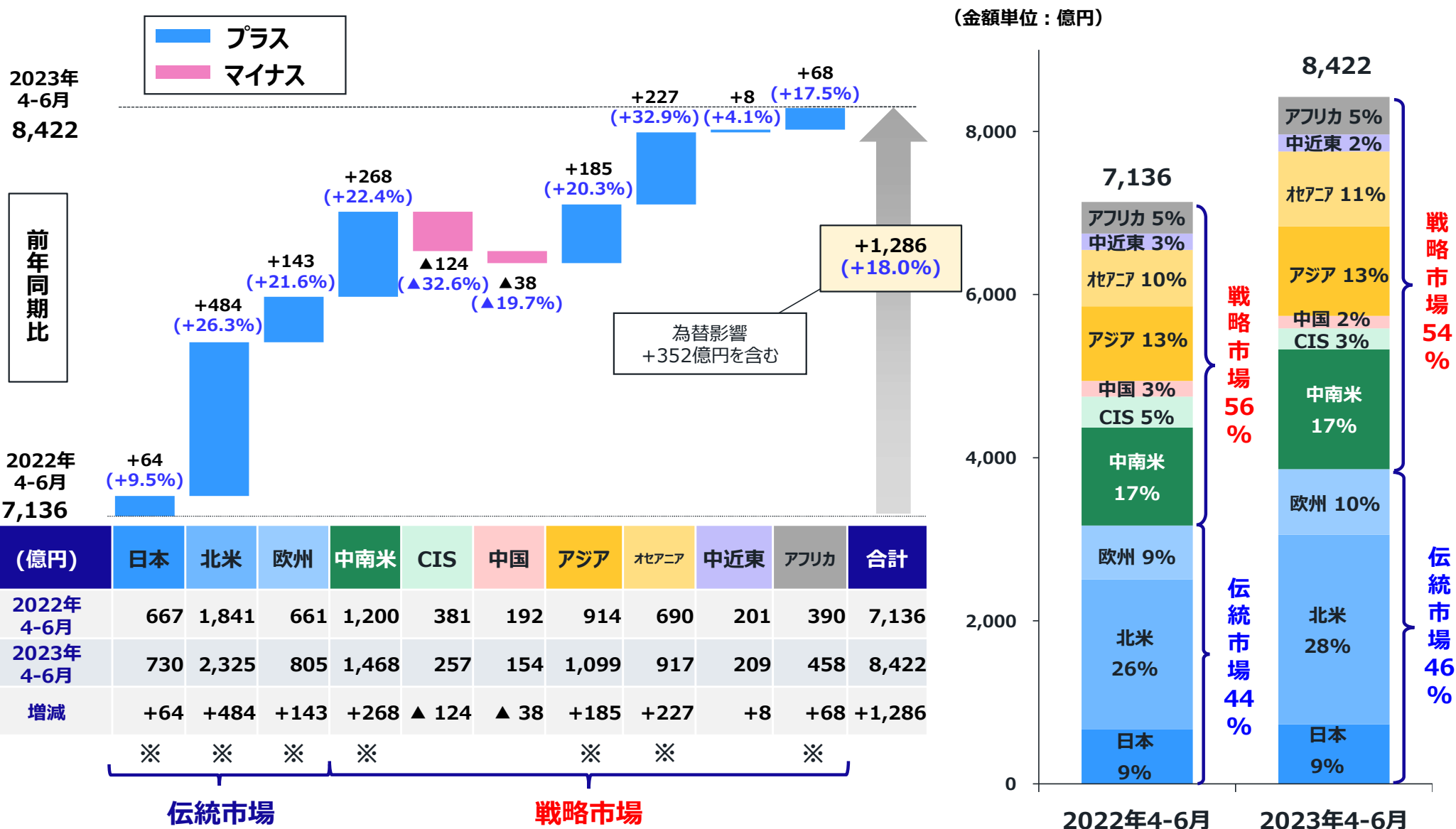
金額単位：億円	2022年度4-6月		2023年度4-6月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	7,638		8,996		+1,357		+17.8%	
建設機械・車両	(7,136)	7,153	(8,422)	8,469	(+1,286)	+1,315	(+18.0%)	+18.4%
リテールファイナンス	(163)	199	(177)	229	(+15)	+30	(+8.9%)	+14.8%
産業機械他	(339)	345	(396)	405	(+57)	+59	(+16.7%)	+17.1%
消去	▲ 60		▲ 107		▲ 47		-	
セグメント利益	□ 12.4%	944	□ 16.3%	1,468	□ +3.9ポイント	+524	+55.6%	
建設機械・車両	□ 11.6%	833	□ 16.3%	1,384	□ +4.7ポイント	+551	+66.1%	
リテールファイナンス	□ 38.7%	77	□ 27.7%	63	□ ▲11.0ポイント	▲ 14	▲17.7%	
産業機械他	□ 10.2%	35	□ 4.8%	19	□ ▲5.4ポイント	▲ 16	▲45.4%	
消去または全社	▲ 2		1		+3		-	

各セグメントの状況：

- 建設機械・車両
物量増および販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収増益。
- リテールファイナンス
為替や金利上昇の影響により増収。前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったことなどにより減益。
- 産業機械他
自動車産業向けで大型プレスの売上増加等により増収。半導体産業向けで世界的な半導体需要の減少による影響を受けて減益。

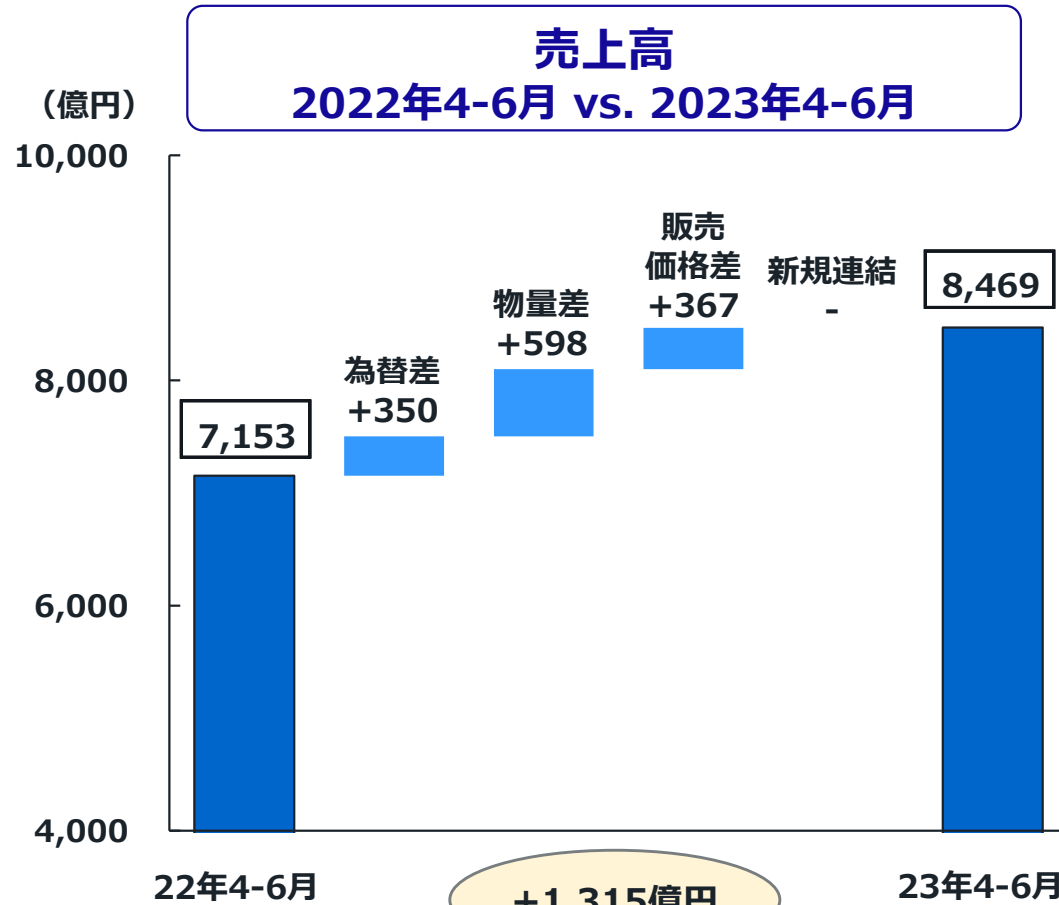
＜建設機械・車両＞2023年度 第1四半期（4-6月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+18.0%増収の8,422億円。
- ・中国、CISを除き、北米、中南米、オセアニアなど他の全地域で売上高が増加。
- ・戦略市場の比率は54%、伝統市場の比率は46%。



<建設機械・車両> 2023年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益の増減要因

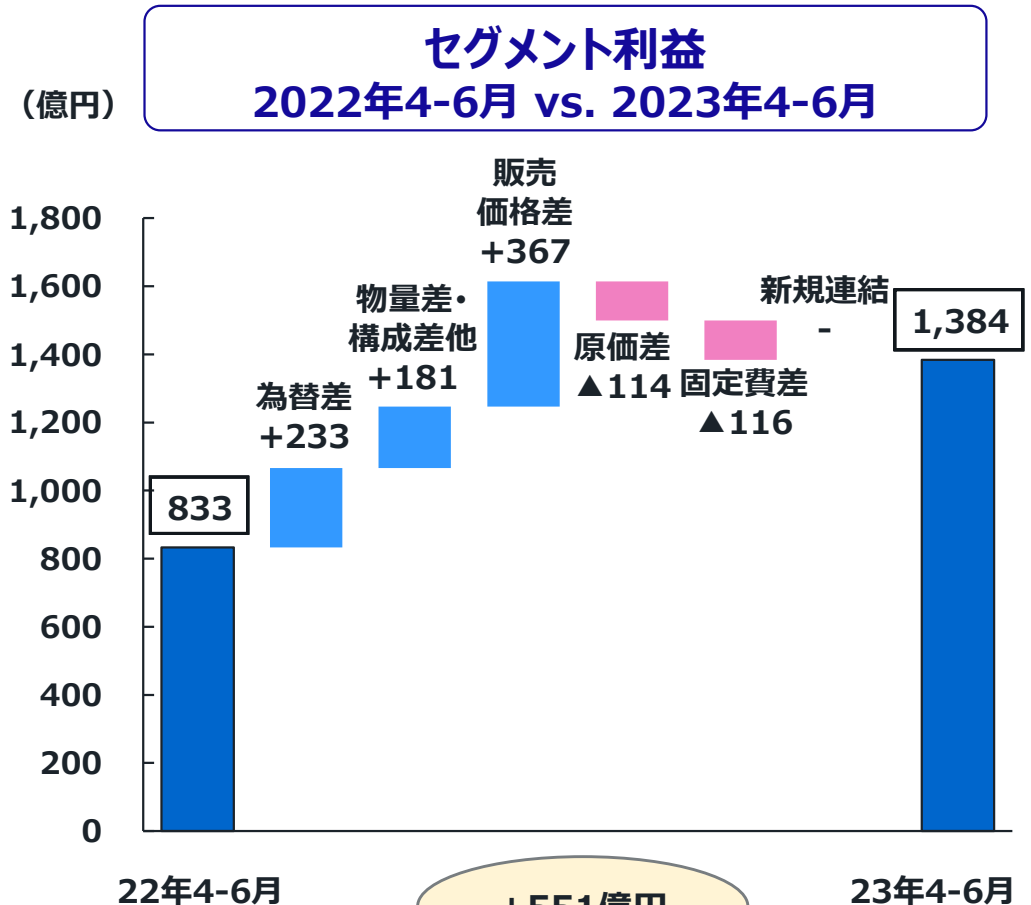
- ・売上高は、物量増および販売価格の改善や為替のプラス影響等により、前年同期比+1,315億円の増収。
- ・セグメント利益は、販売価格および為替のプラス影響等により、前年同期比+551億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年同期比+4.7ポイント上昇し16.3%。



¥127.1/USD
¥136.9/EUR
¥92.0/AUD

■ プラス要因
■ マイナス要因

¥136.4/USD
¥147.7/EUR
¥89.9/AUD



11.6%

■ プラス要因
■ マイナス要因

売上高セグメント利益率

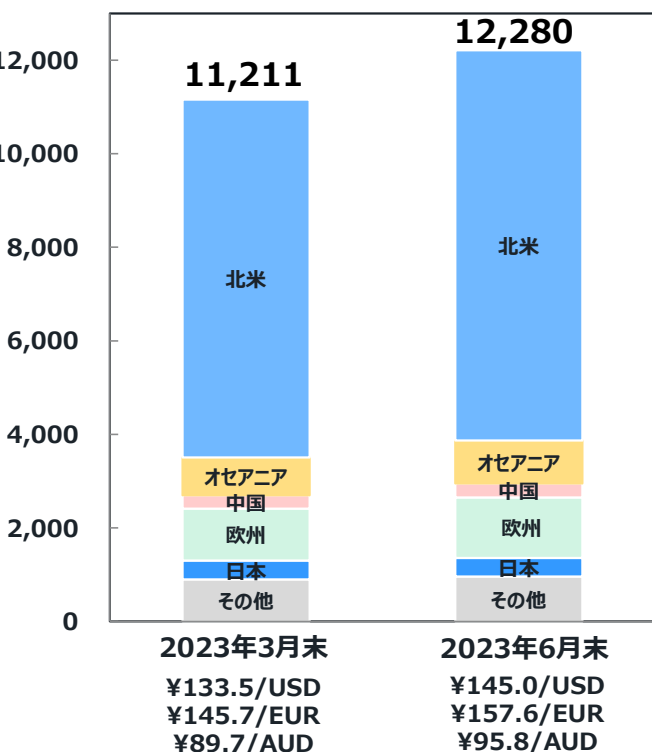
16.3%

<リテールファイナンス> 2023年度 第1四半期（4-6月）の状況

- ・ 資産は、主に為替の影響により、前年度末比+1,068億円の増加。
- ・ 新規取組高は、主に為替の影響により、前年同期比+229億円の増加。
- ・ 売上高は、為替の影響に加え、金利上昇により前年同期比+30億円の増収。
- ・ セグメント利益は、前年同期に北米で計上した貸倒引当金の戻入益がなくなったことなどにより、前年同期比▲14億円の減益。

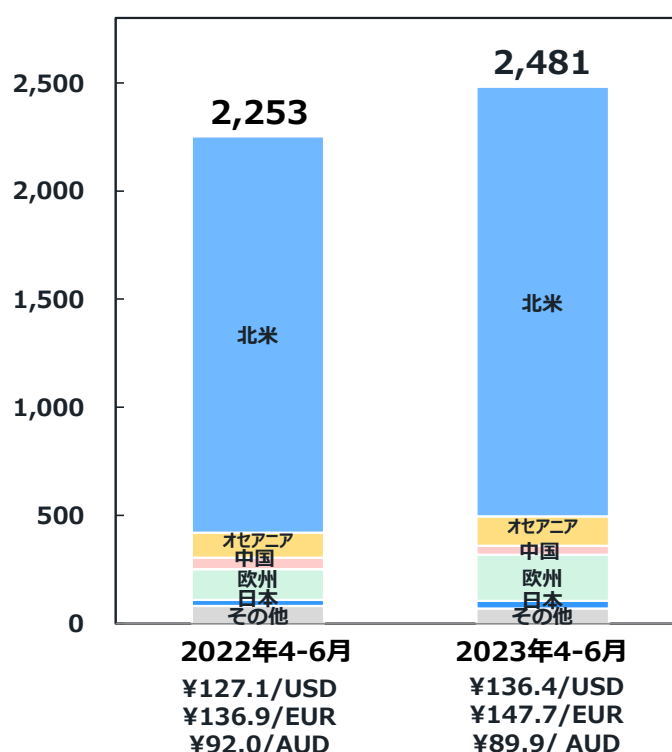
資産

2023年3月末 vs. 2023年6月末



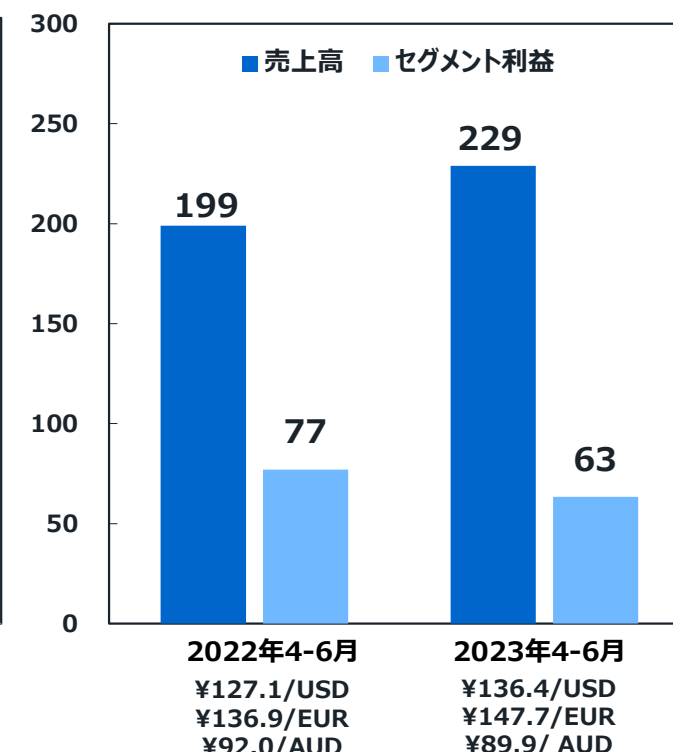
新規取組高

2022年4-6月 vs. 2023年4-6月



収益

2022年4-6月 vs. 2023年4-6月

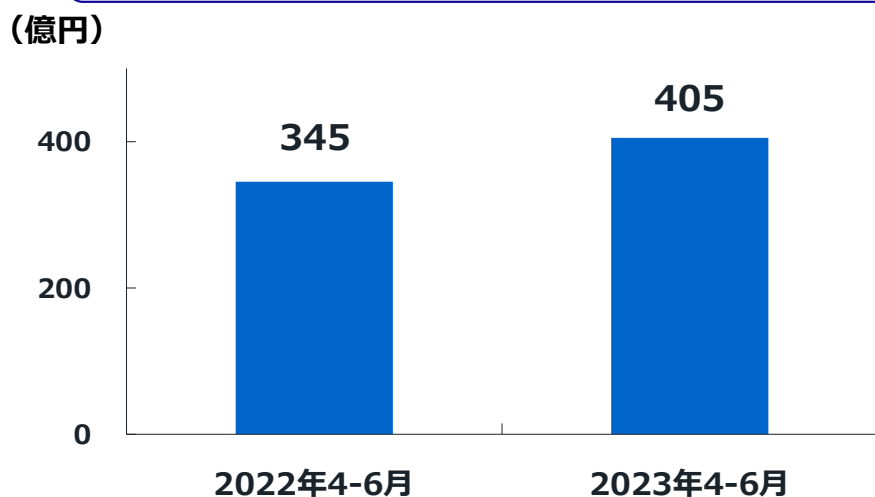


金額単位：億円	2023年3月末	2023年6月末	前年度末比
借入金	8,569	9,387	+818
ネットベースの借入金	8,453	9,216	+763
ネットD/Eレシオ	3.77	3.74	▲0.03ポイント

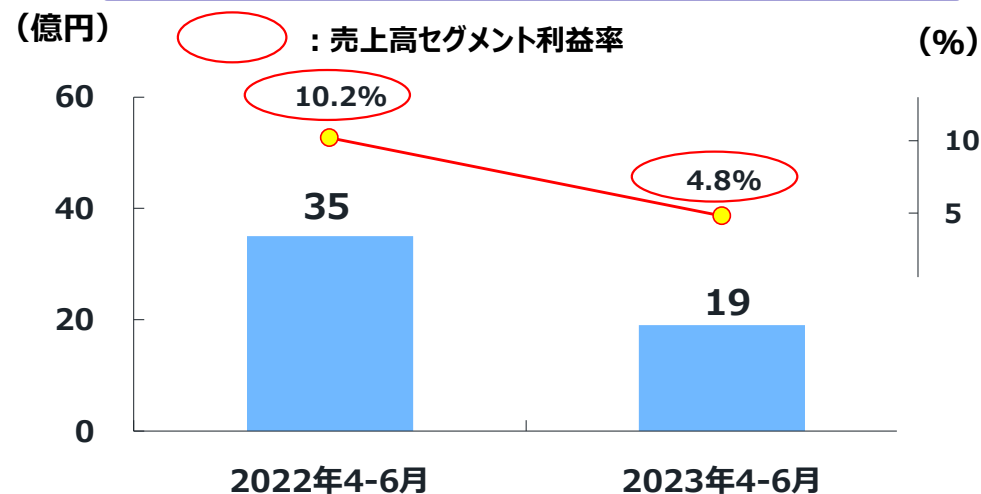
<産業機械他> 2023年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比+17.1%増収の405億円、セグメント利益は、前年同期比▲45.4%減益の19億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械では、大型プレス等の販売増により増収。
- ・半導体産業向けでは、世界的な半導体需要の減少を受けて利益率の高いメンテナンス売上が減少したため減益。
- ・売上高セグメント利益率は、4.8%。

売上高
2022年4-6月 vs. 2023年4-6月



セグメント利益
2022年4-6月 vs. 2023年4-6月



売上高の内訳

(億円)	2022年4-6月	2023年4-6月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	73	96	+23	+31.2%
コマツNTC	51	75	+24	+46.2%
ギガフォトン	140	135	▲6	▲3.9%
その他	80	99	+18	+22.4%
合計	345	405	+59	+17.1%

連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比+4,222億円増加の5兆2,981億円。主に為替と運転資本の影響により増加。
- ・棚卸資産は、円安の影響に加え、鉱山機械への需要増の対応などにより増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比▲0.8ポイント低下し51.3%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2023年3月末 ¥133.5/USD ¥145.7/EUR ¥89.7/AUD	2023年6月末 ¥145.0/USD ¥157.6/EUR ¥95.8/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,900	3,435	+535
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	16,816	17,792	+976
棚卸資産	12,272	13,947	+1,674
有形固定資産	8,364	8,686	+321
その他資産	8,406	9,122	+716
資産合計	48,758	52,981	+4,222
支払手形・買掛金	3,624	3,674	+50
借入金・社債 [b]	10,538	12,061	+1,524
その他負債	7,818	8,578	+760
負債合計	21,979	24,313	+2,334
（株主資本比率）	（52.1%）	（51.3%）	（▲0.8ポイント）
株主資本	25,396	27,189	+1,793
非支配持分	1,383	1,479	+96
負債及び純資産合計	48,758	52,981	+4,222
ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	○0.30 7,638	○0.32 8,627	+989
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○▲0.04	○▲0.02	

Ⅱ. 2023年度の業績見通し

2023年度の業績見通し（概要）

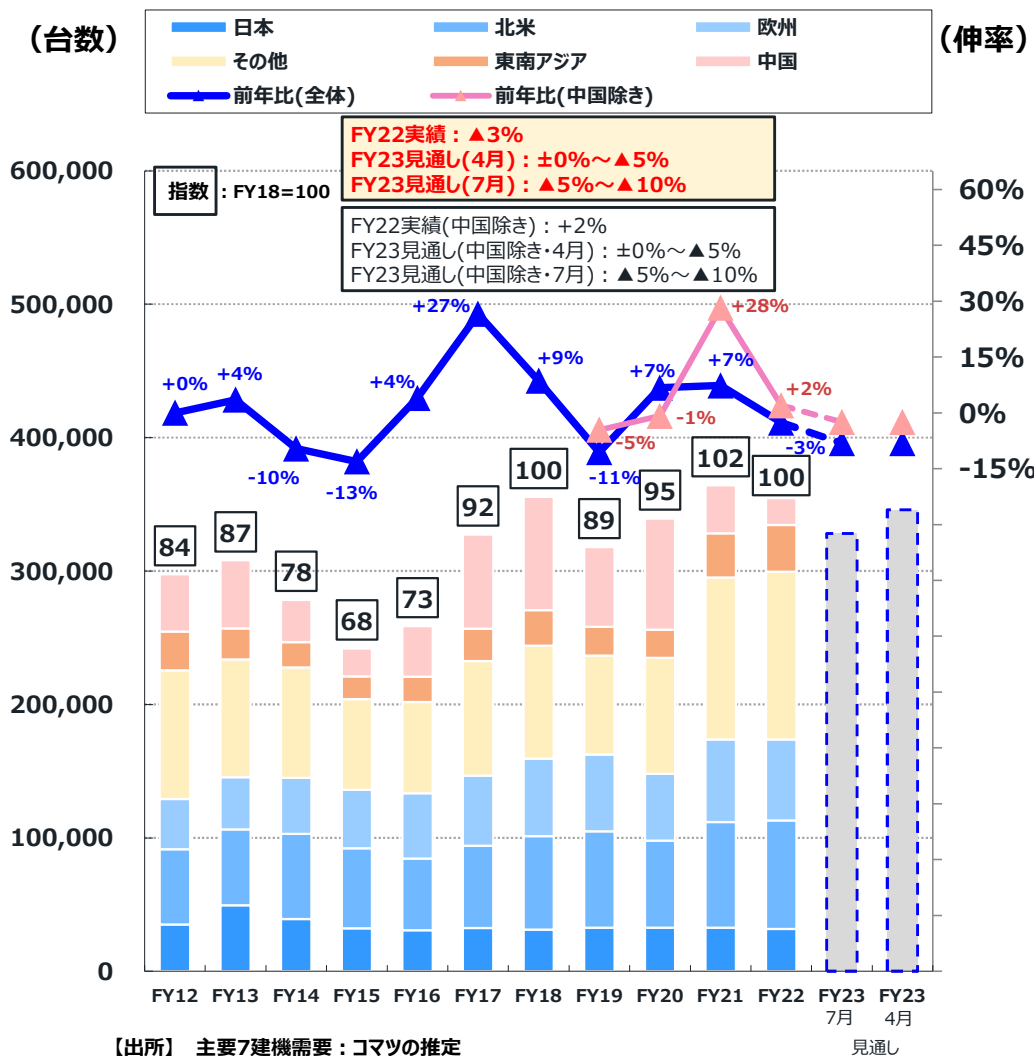
- 2023年度の業績見通しは、前回の見通し（4月）から変更無し。

金額単位：億円	2022年度 ¥134.8/USD ¥140.3/EUR ¥92.5/AUD	2023年度 (見通し) ¥125.0/USD ¥133.0/EUR ¥83.0/AUD	前年比	
			増減	増減率
連結売上高	35,435	33,820	▲ 1,615	▲ 4.6%
セグメント利益	4,935	4,980	+45	+0.9%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 28	▲ 70	▲ 42	-
営業利益	4,907	4,910	+3	+0.1%
売上高営業利益率	13.8%	14.5%	+0.7 [°] ｲﾄ	-
その他の収益(▲費用)	▲ 143	▲ 490	▲ 347	-
税引前純利益	4,764	4,420	▲ 344	▲ 7.2%
当社株主に帰属する当期純利益	3,264	2,990	▲ 274	▲ 8.4%
ROE	13.7%	11.7%	▲ 2.0 [°] ｲﾄ	
1株当たり配当金（円）	139円	139円	±0円	
連結配当性向	40.3%	44.0%		

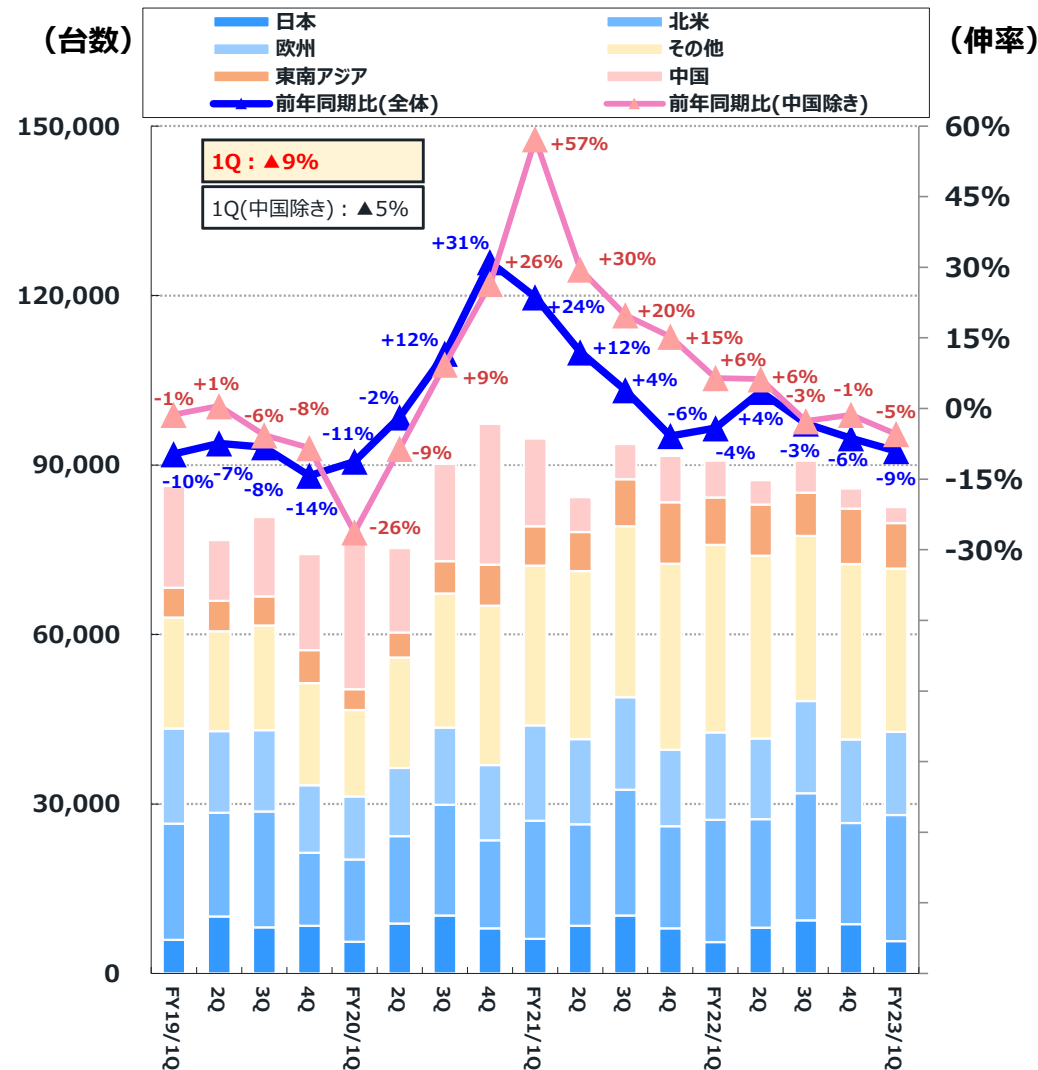
<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2023年度の第1四半期の需要は、前年同期比▲9%の減少。中国を除く地域では、前年同期比▲5%の減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。
- 中国を除く地域では、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。

主要7建機 年度別需要推移



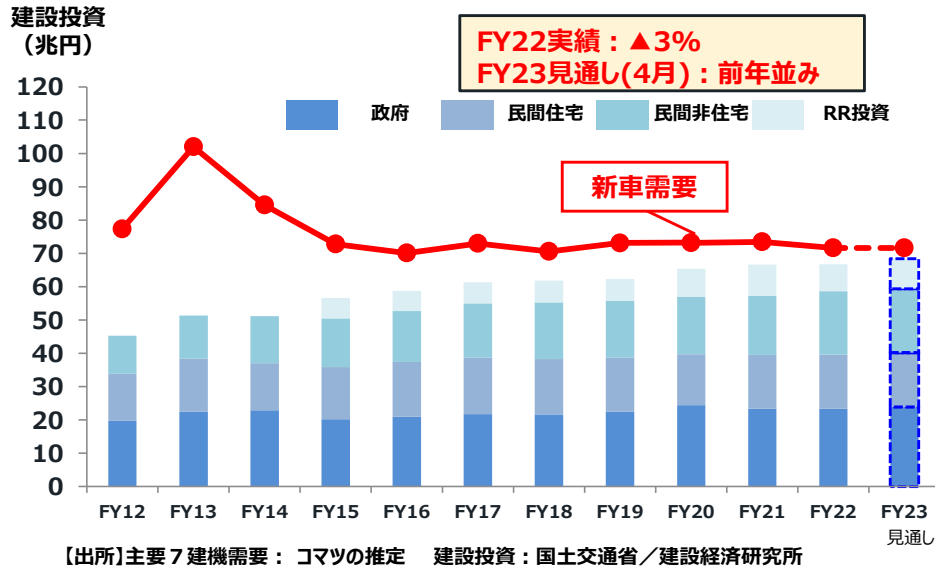
主要7建機 四半期別需要推移



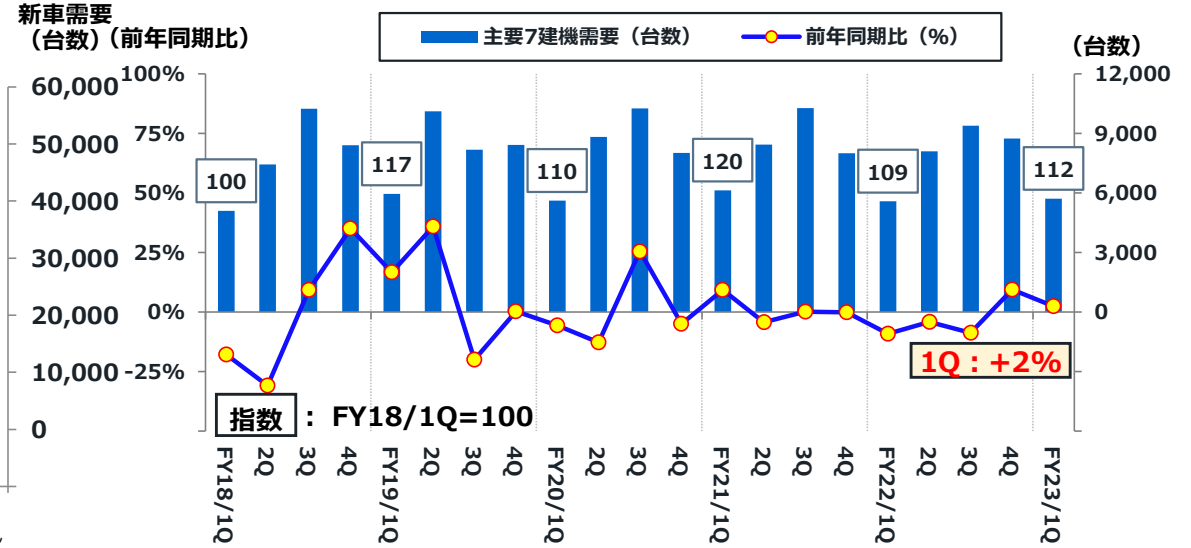
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比+2%の増加。公共工事、民間工事向け共に堅調で需要は増加。
- ・2023年度の需要は、前年並みの見通し（4月見通しから変更無し）。

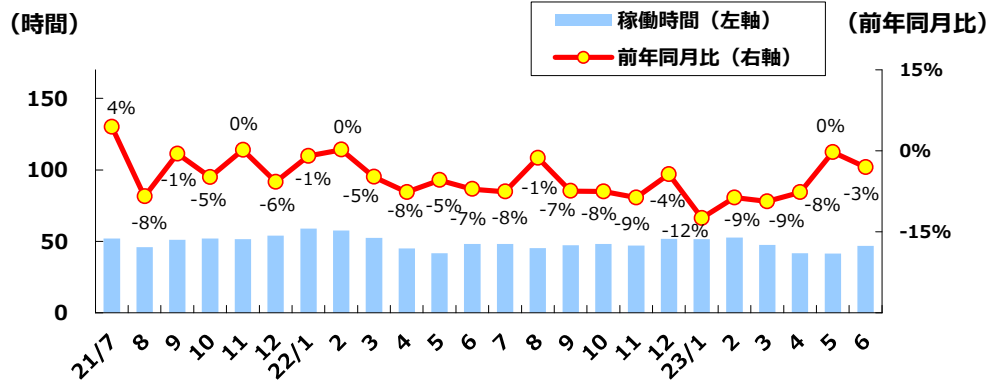
新車需要（主要7建機）と建設投資



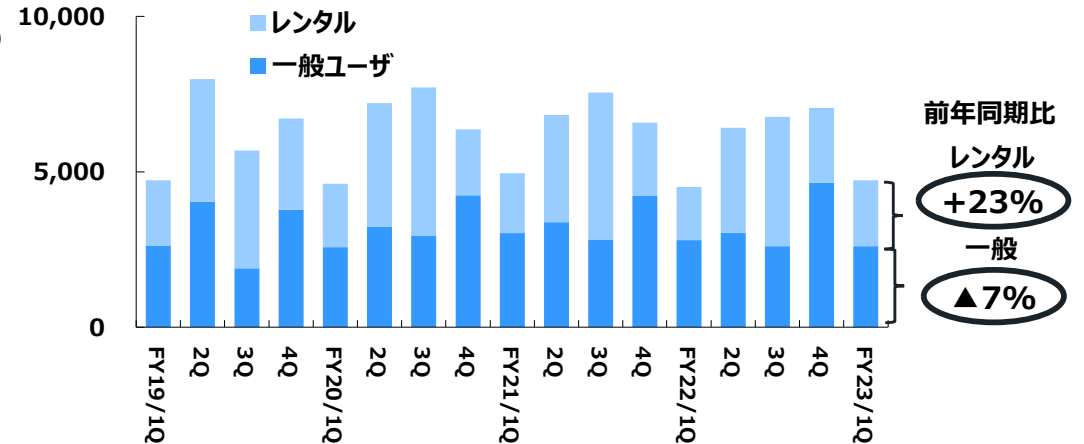
主要7建機 四半期別需要推移



Komtrax (日本) 月平均稼働時間推移



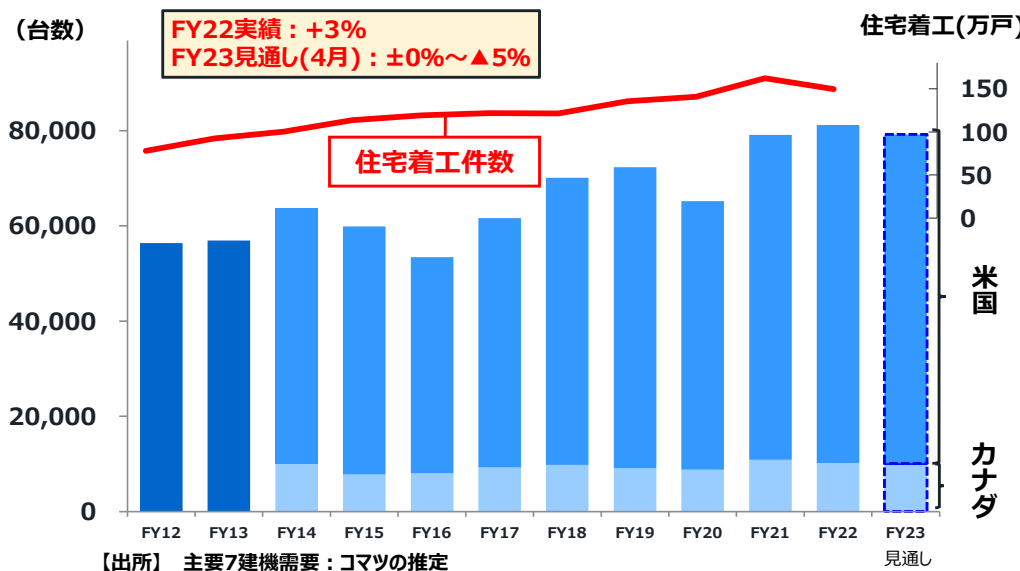
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



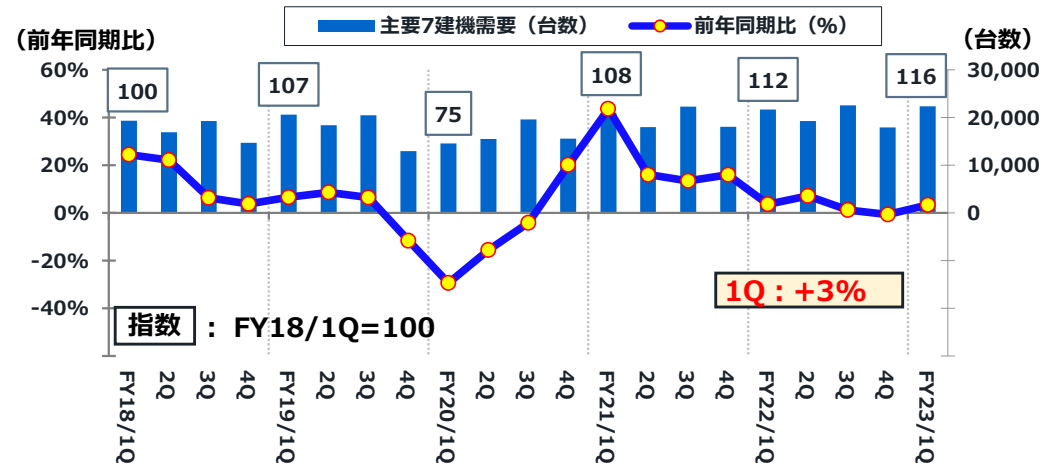
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比+3%の増加。金利上昇の影響で住宅建設向けの減少傾向があるものの、レンタル、インフラ、エネルギー関連向けが好調に推移。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

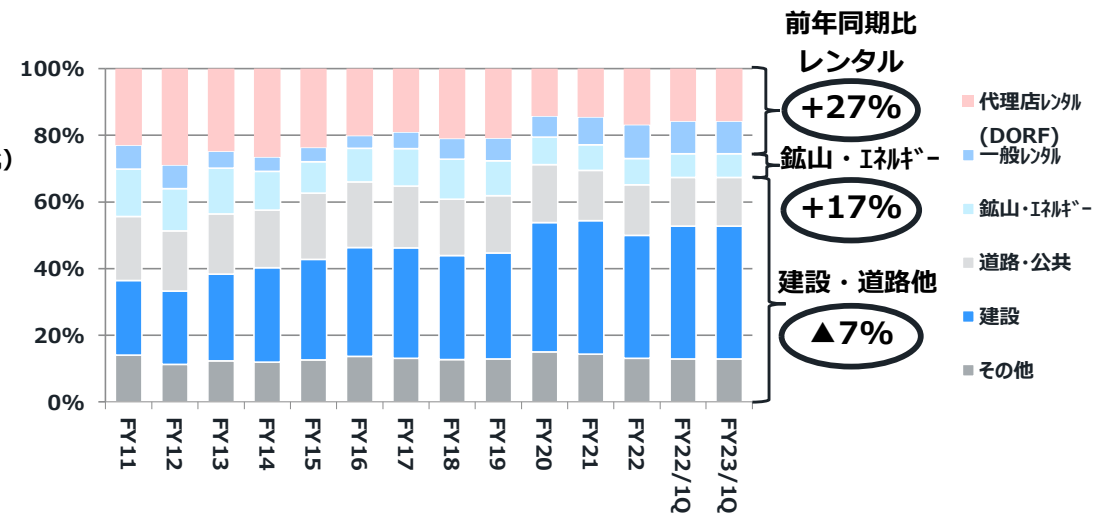
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



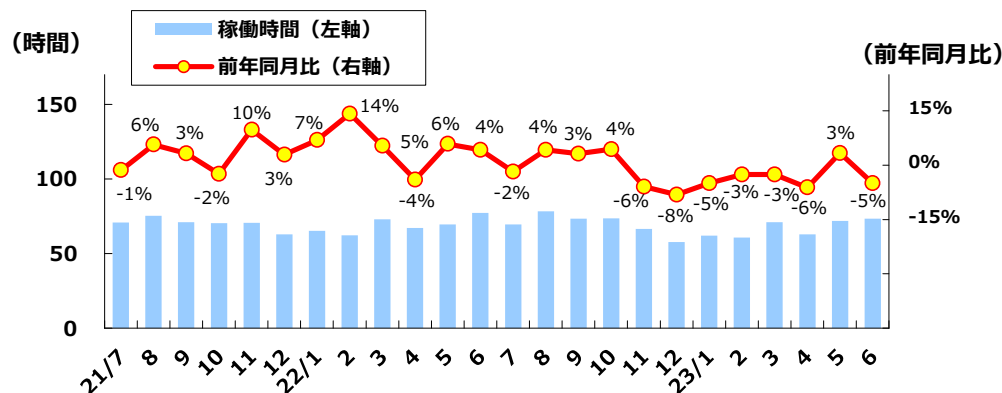
主要7建機 四半期需要推移



セグメント別需要構成比 (台数ベース)



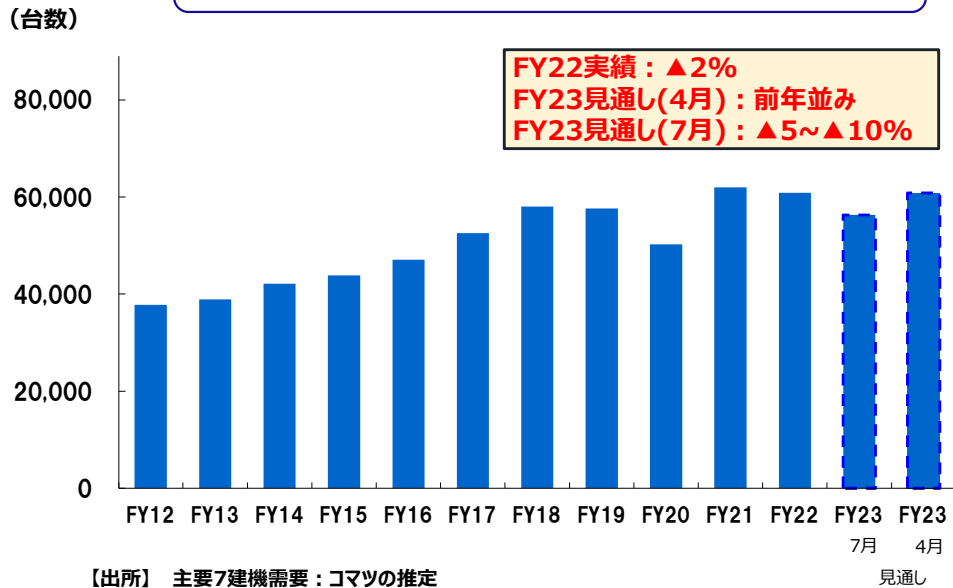
Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



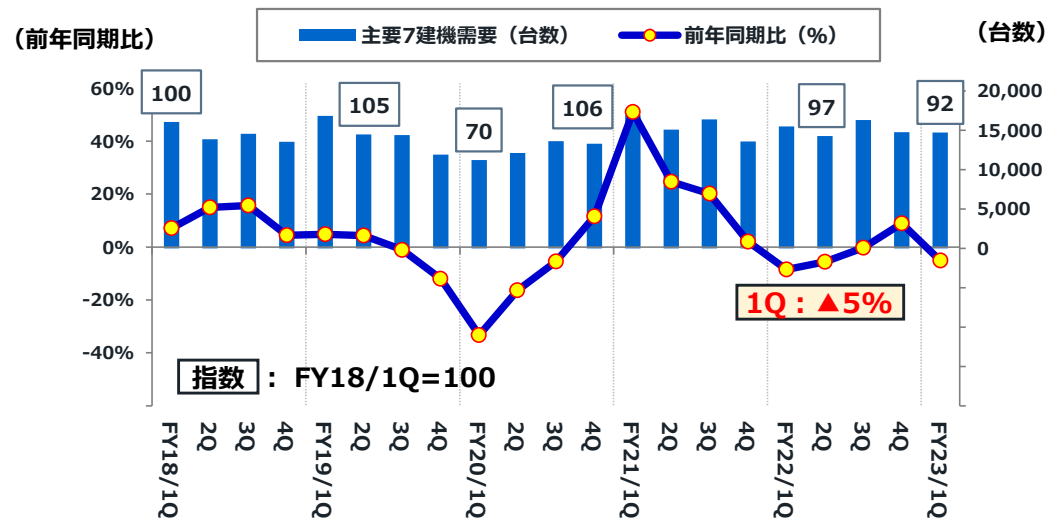
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：③欧州

- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比▲5%の減少。急速な金利上昇と持続的な高インフレ等による影響で、ドイツ、英国、フランスを中心に需要が減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。

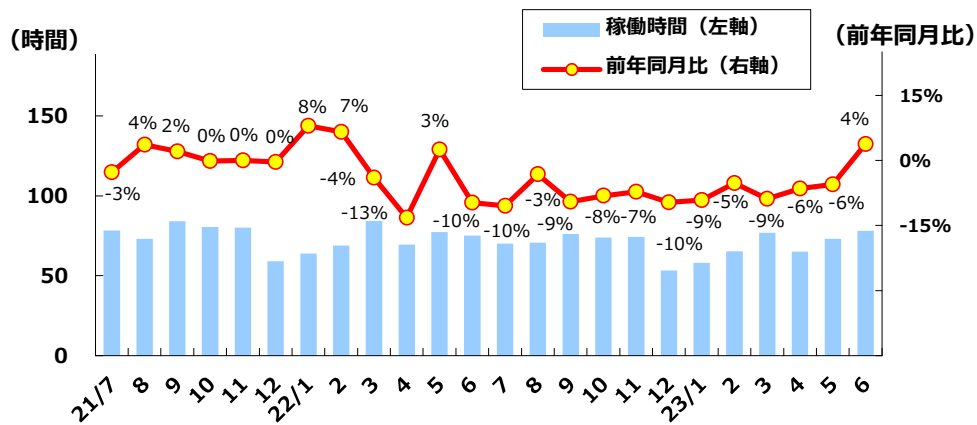
主要7建機 年度別需要推移



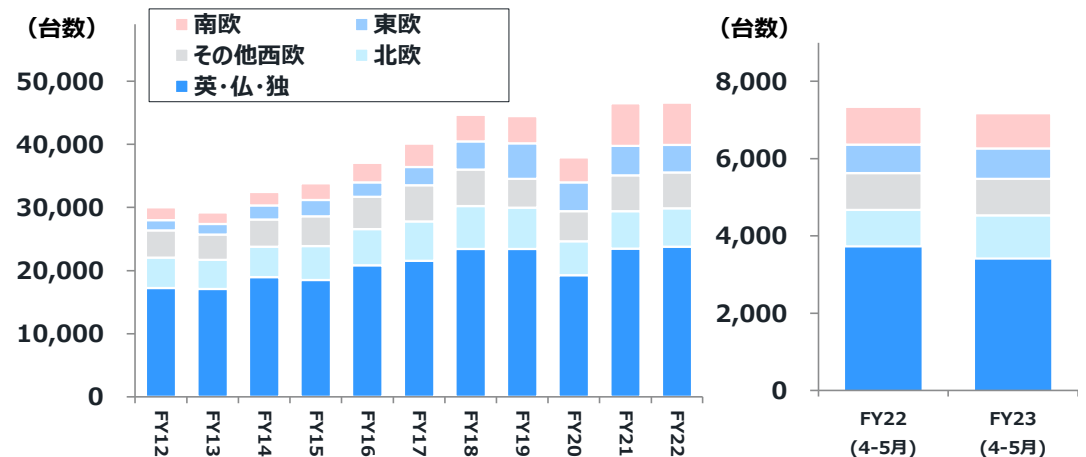
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax（欧州）月平均稼働時間推移



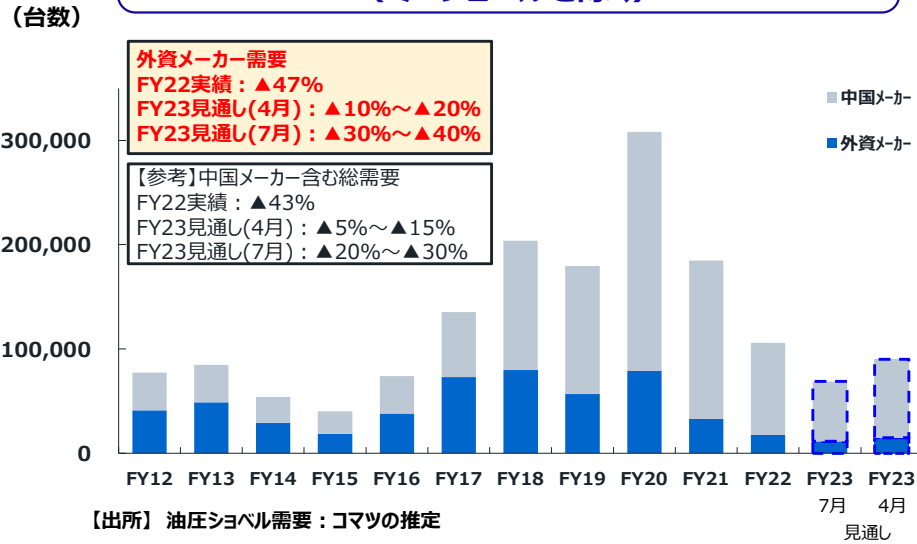
主要7建機（6tクラス除く）地域別需要



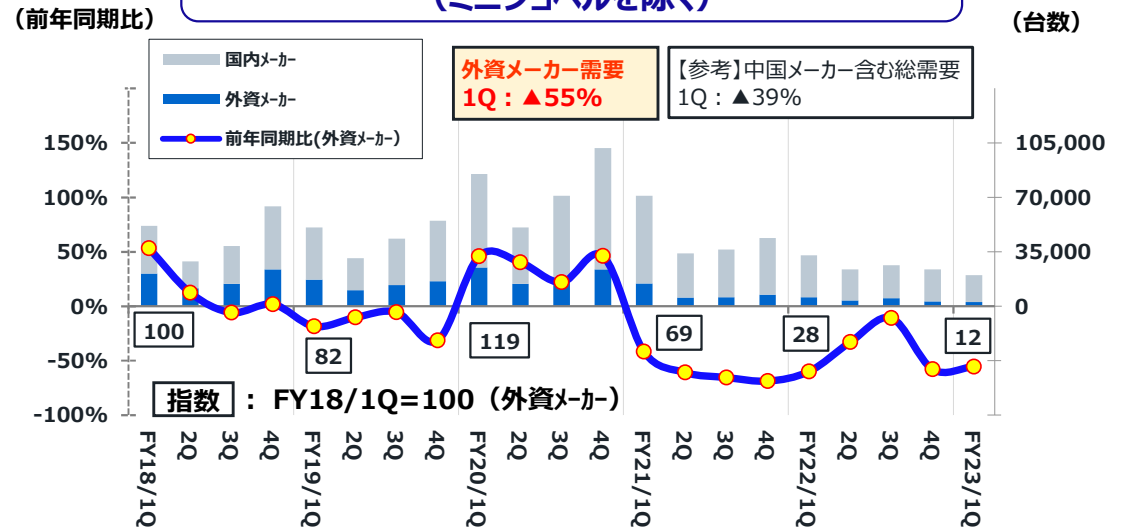
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：④中国

- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比▲55%の減少。不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞などにより需要は大幅に減少。
- ・2023年度の需要は、前年比▲30%～▲40%の見通し（4月見通しより変更）。

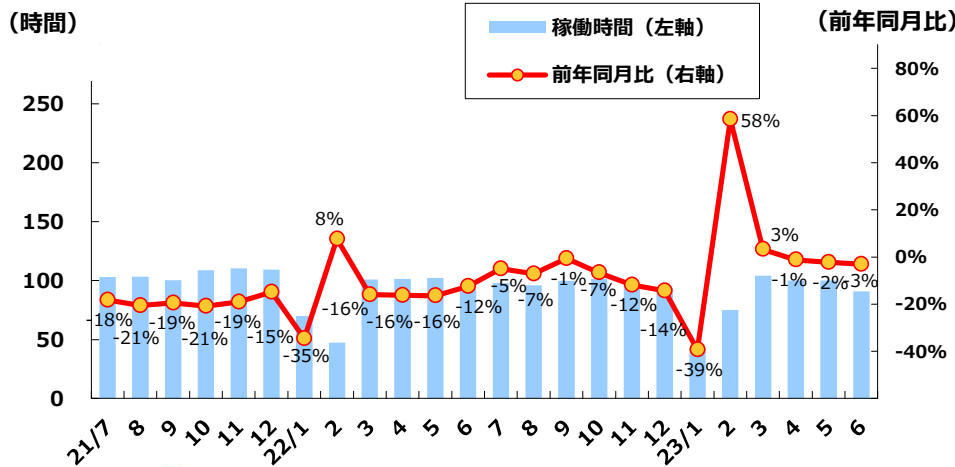
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



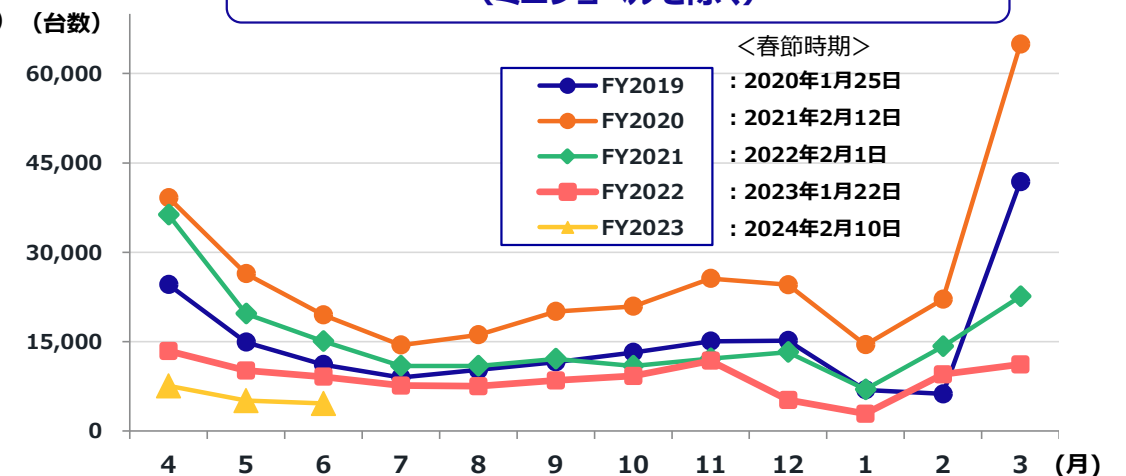
油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



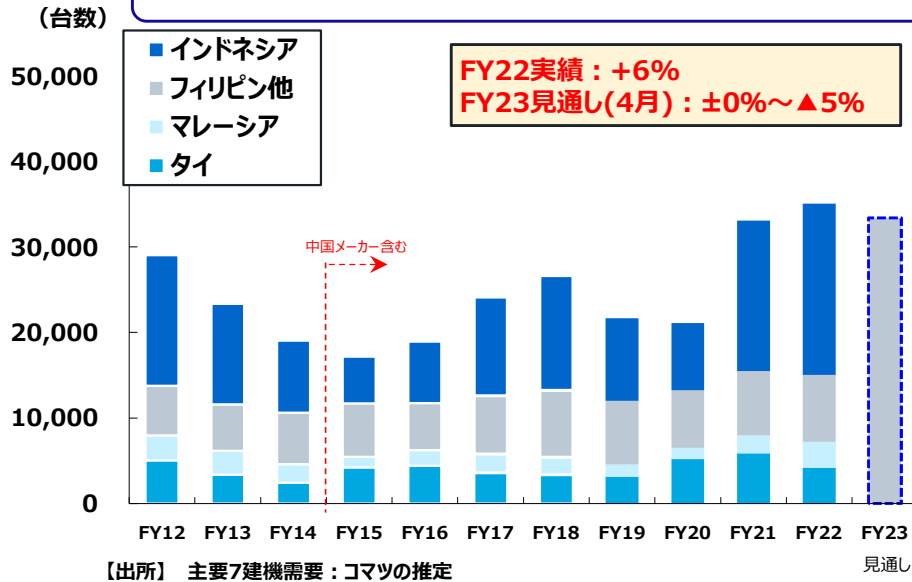
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



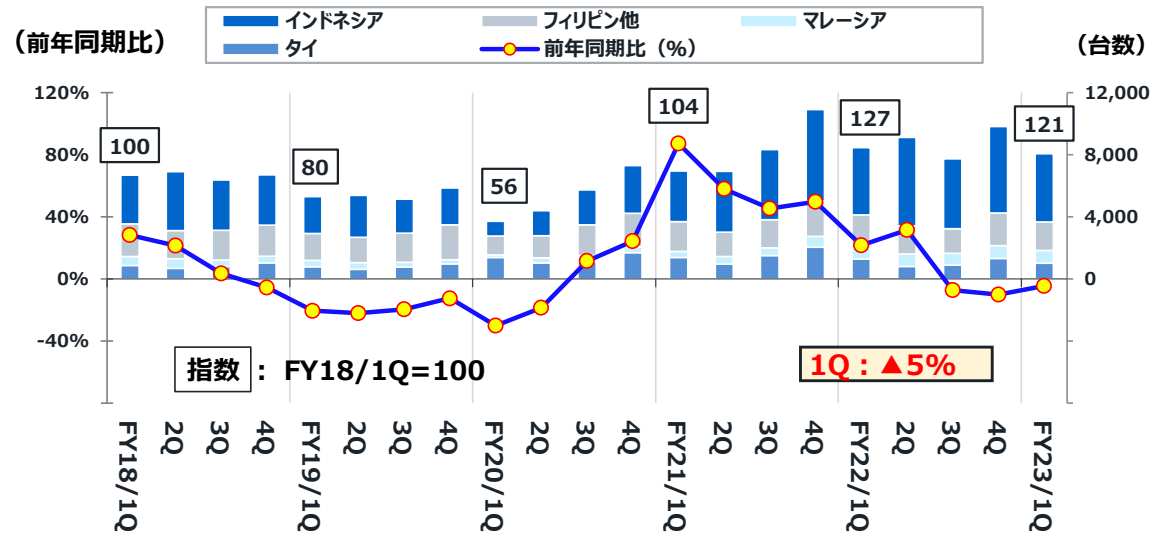
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比▲5%の減少。一般建機ではインドネシア、タイ、ベトナムなどで需要が減少したものの、鉱山機械ではインドネシアで石炭、ニッケル鉱山向け機械の需要が好調。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

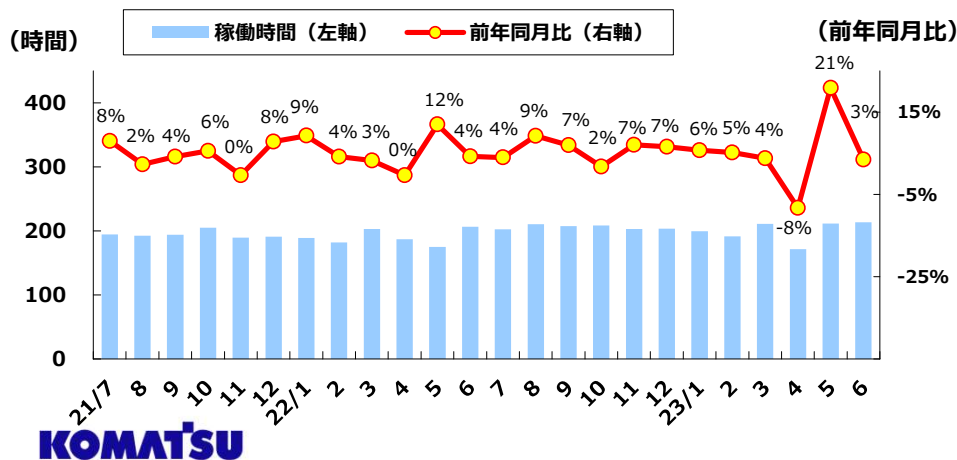
主要7建機 年度別需要推移



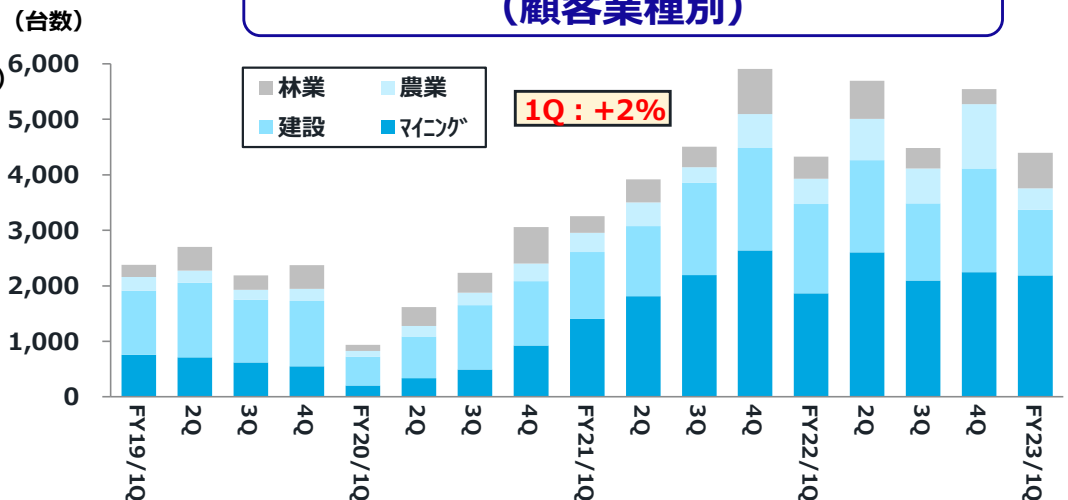
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax（インドネシア） 月平均稼働時間推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 （顧客業種別）

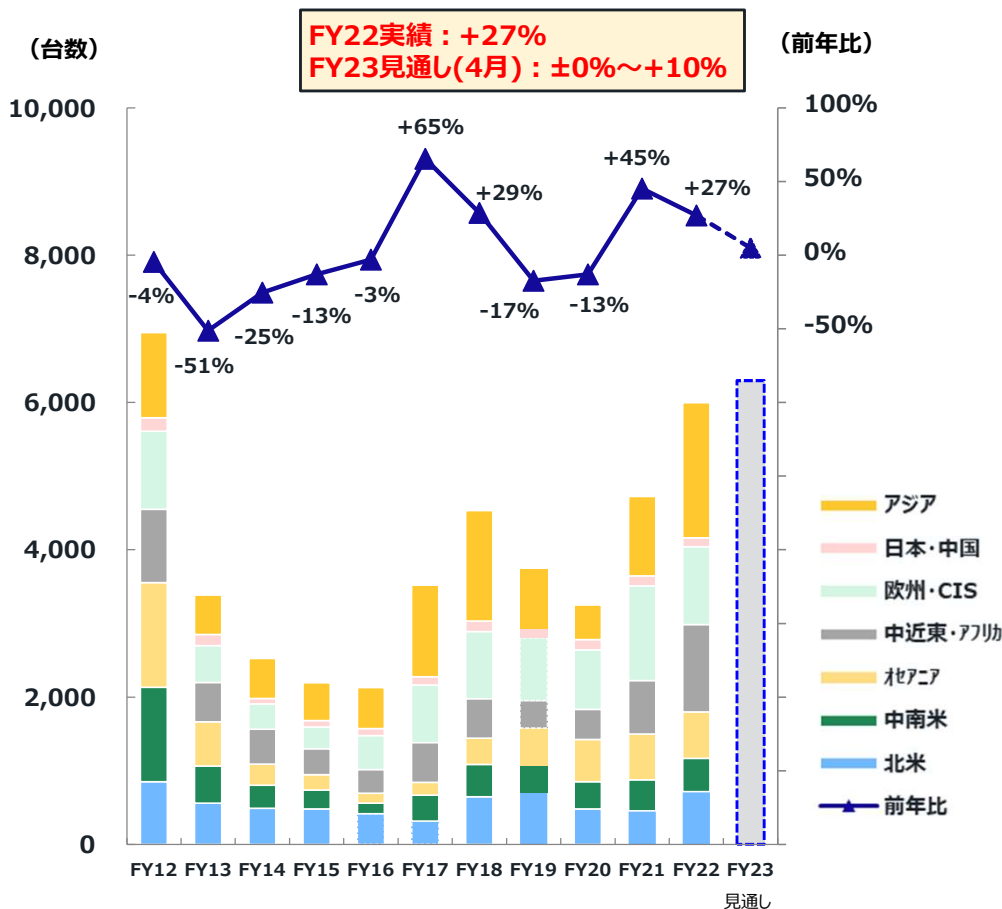


＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

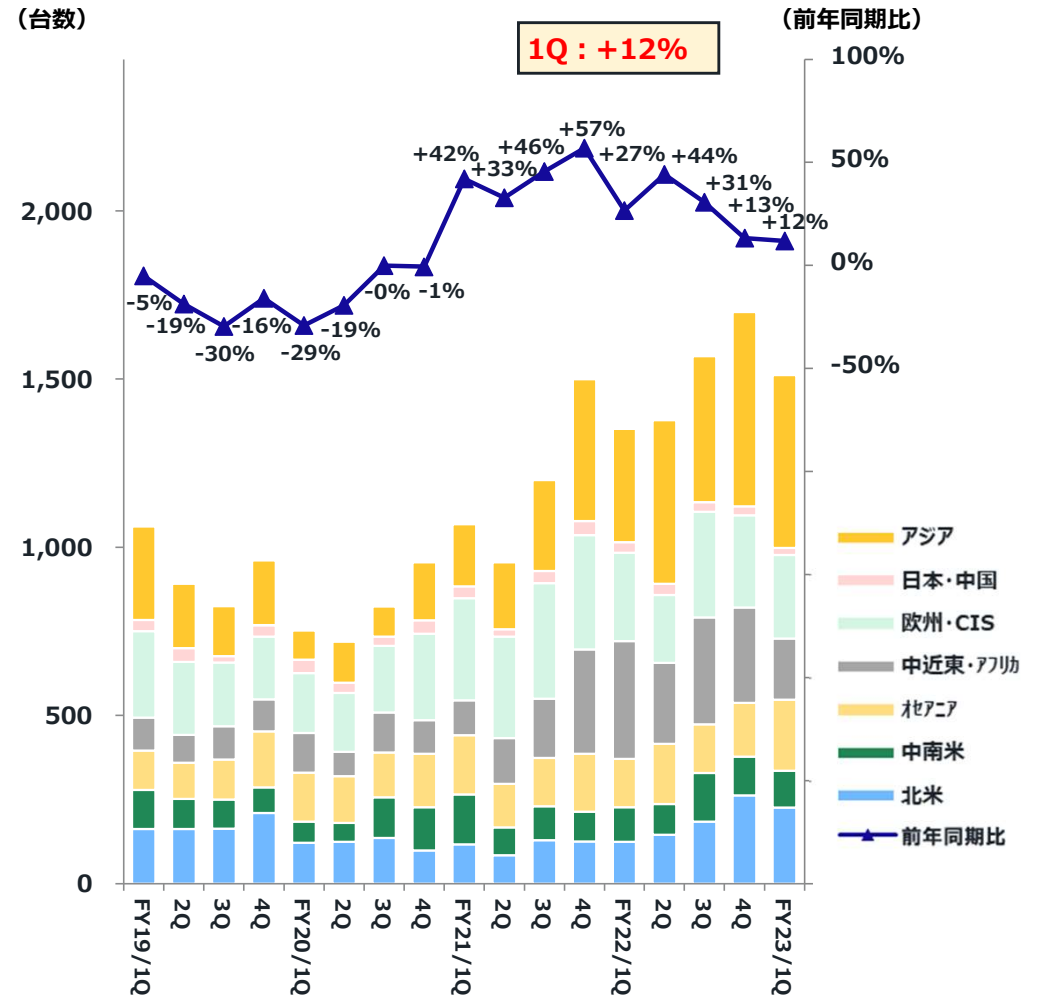
- ・2023年度第1四半期の需要は、前年同期比+12%の増加。北米、インドネシア、オセアニアなどで需要が増加。
- ・2023年度の需要は、前年比±0%～+10%の見通し（4月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移

- ・ダンプトラック：75t（HD785）以上
- ・フルパワー：525HP（D375）以上
- ・エクスカバータ：200t（PC2000）以上
- ・ホイールローダ（機械駆動）：810HP（WA800）以上
- ・モーターローダ：280HP（GD825）以上



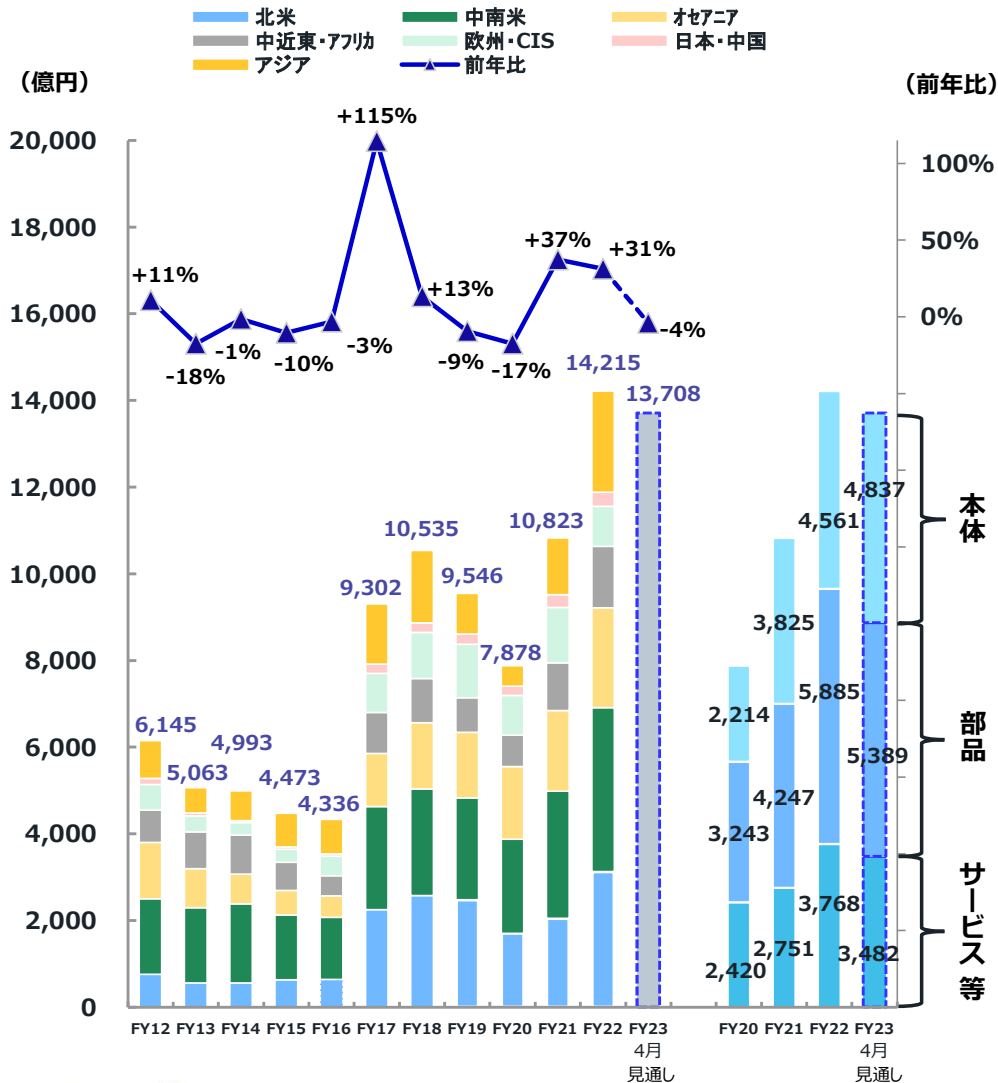
鉱山機械 四半期別需要推移



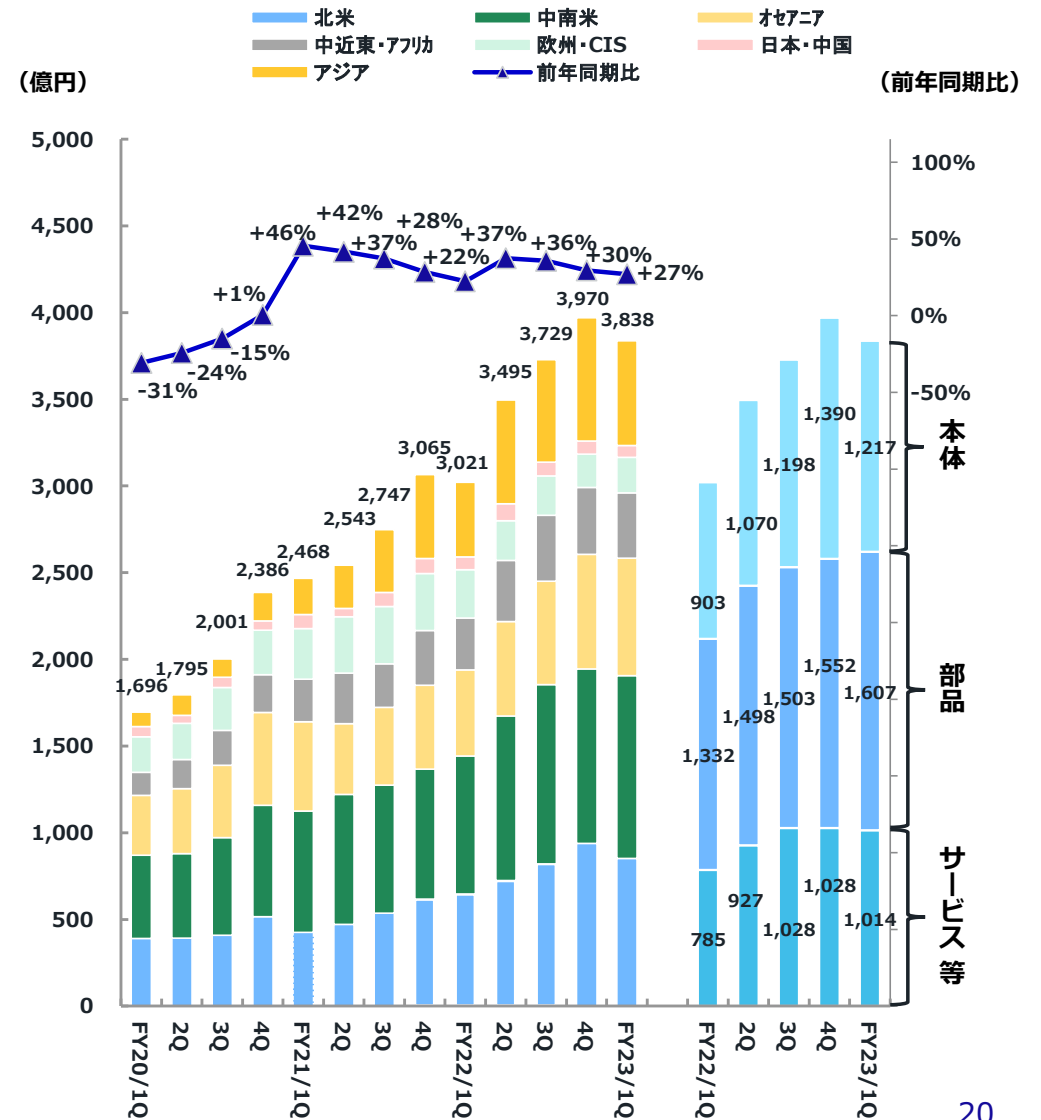
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2023年度第1四半期の売上高は、前年同期比+27%増収の3,838億円。
- ・2023年度の売上高は、4月見通しの1兆3,708億円を上回る見込み。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)



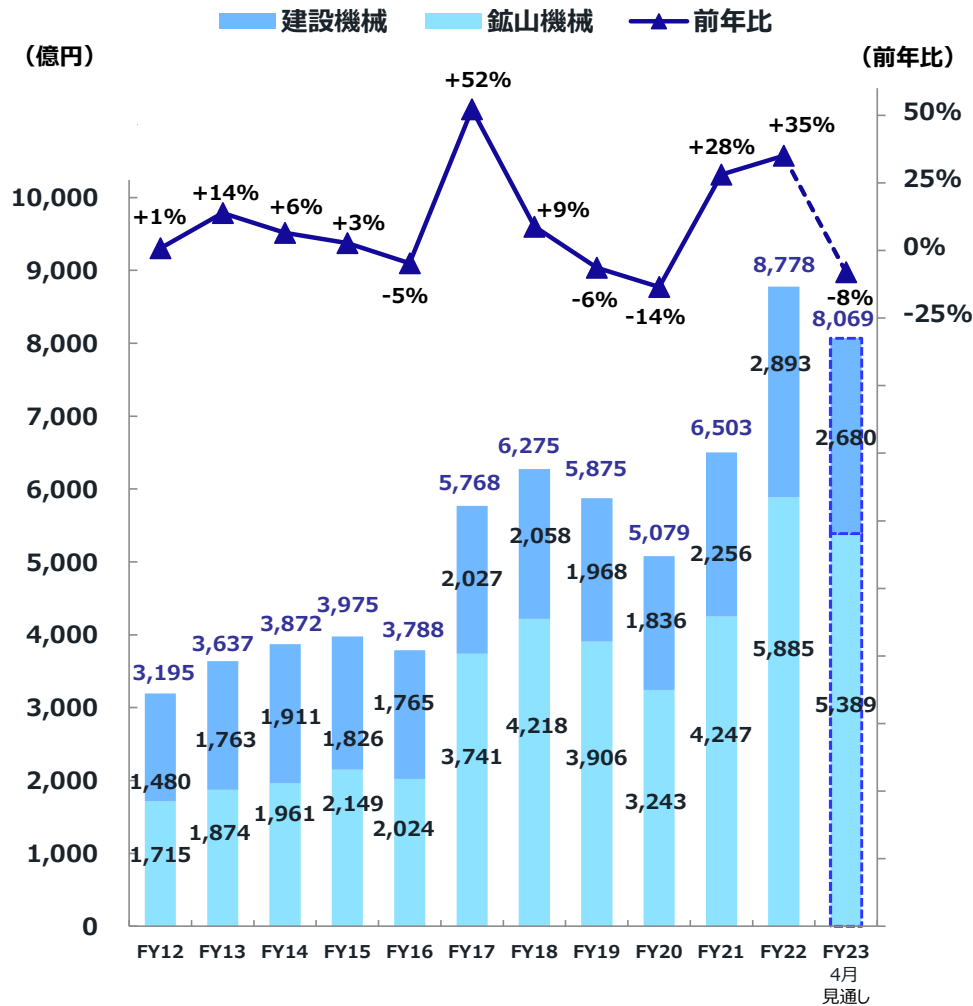
鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)



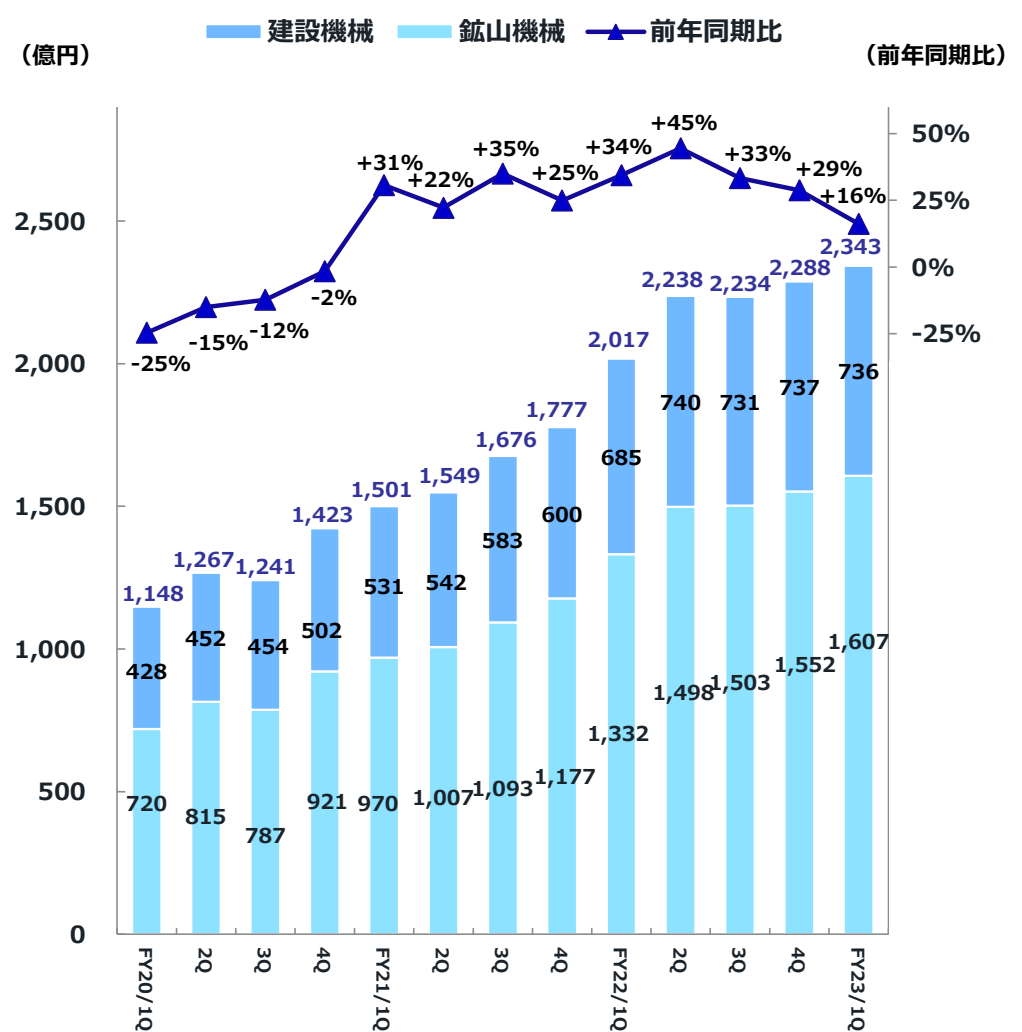
＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2023年度第1四半期の部品売上高は、前年同期比+16%増収の2,343億円。
- ・2023年度の部品売上高は、4月見通しの8,069億円を上回る見込み。

部品 年度別売上高



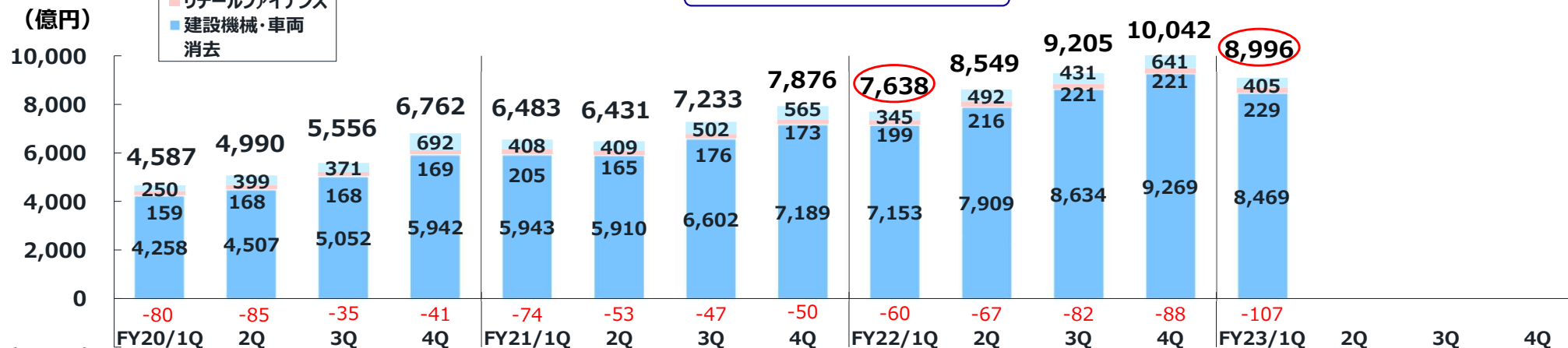
部品 四半期別売上高



参考資料

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

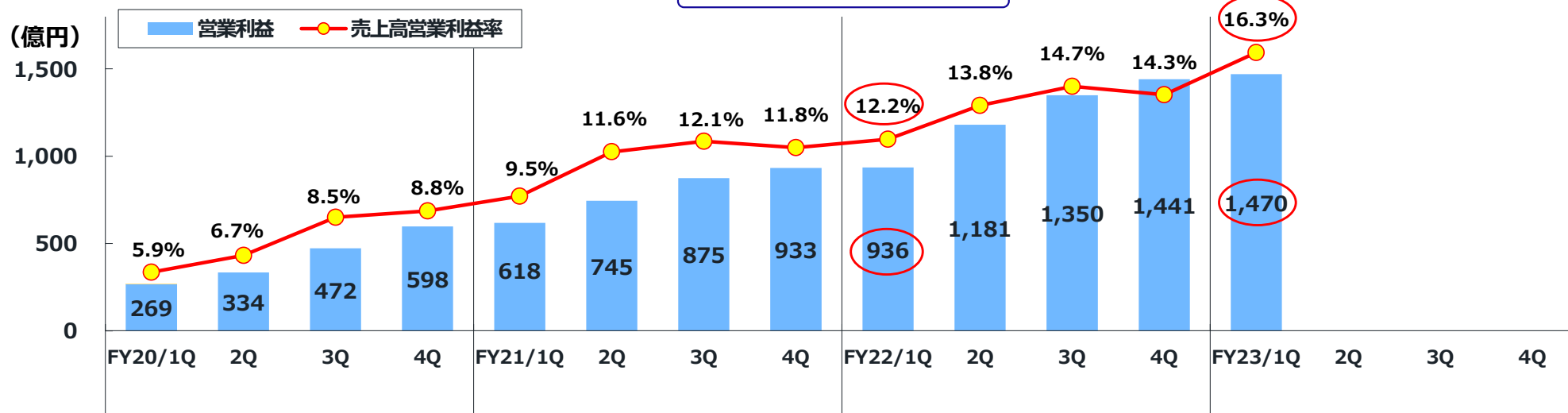
連結売上高



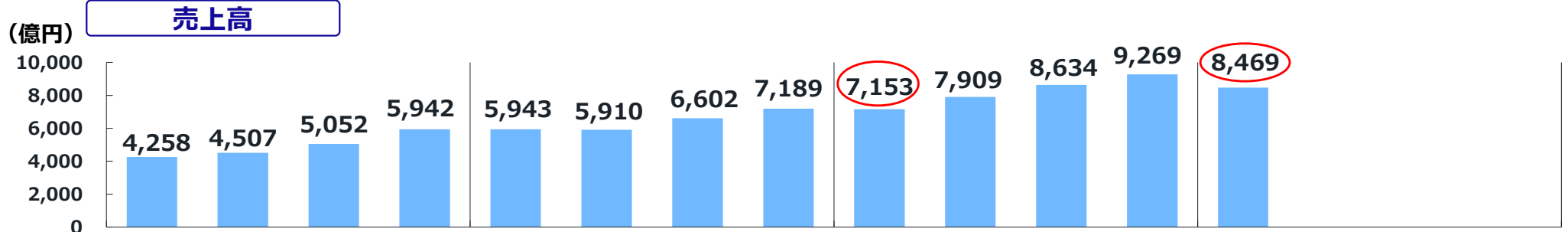
為替
レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4			
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7			
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9			

営業利益

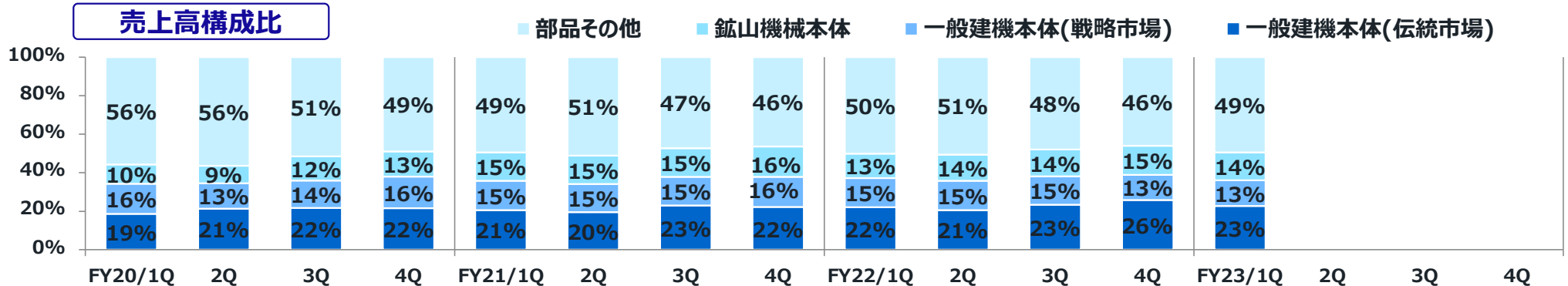
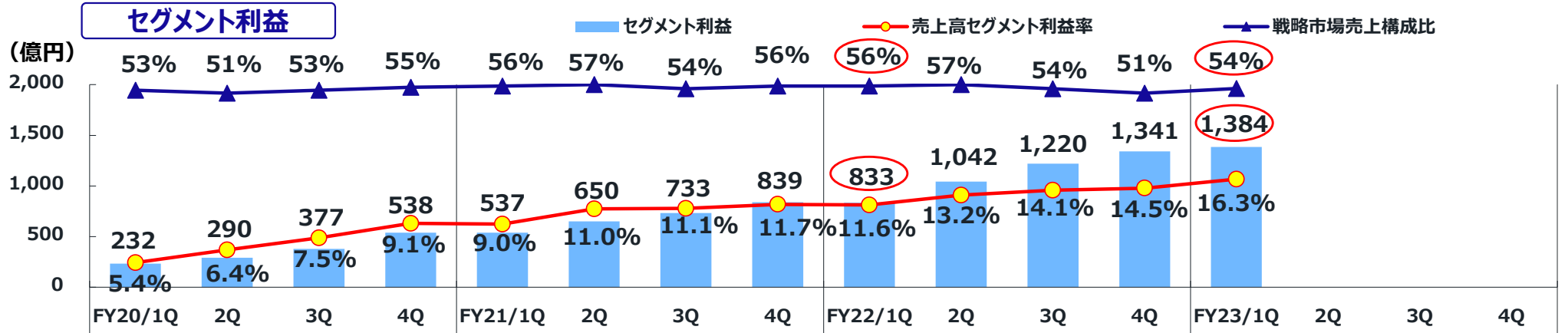


【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



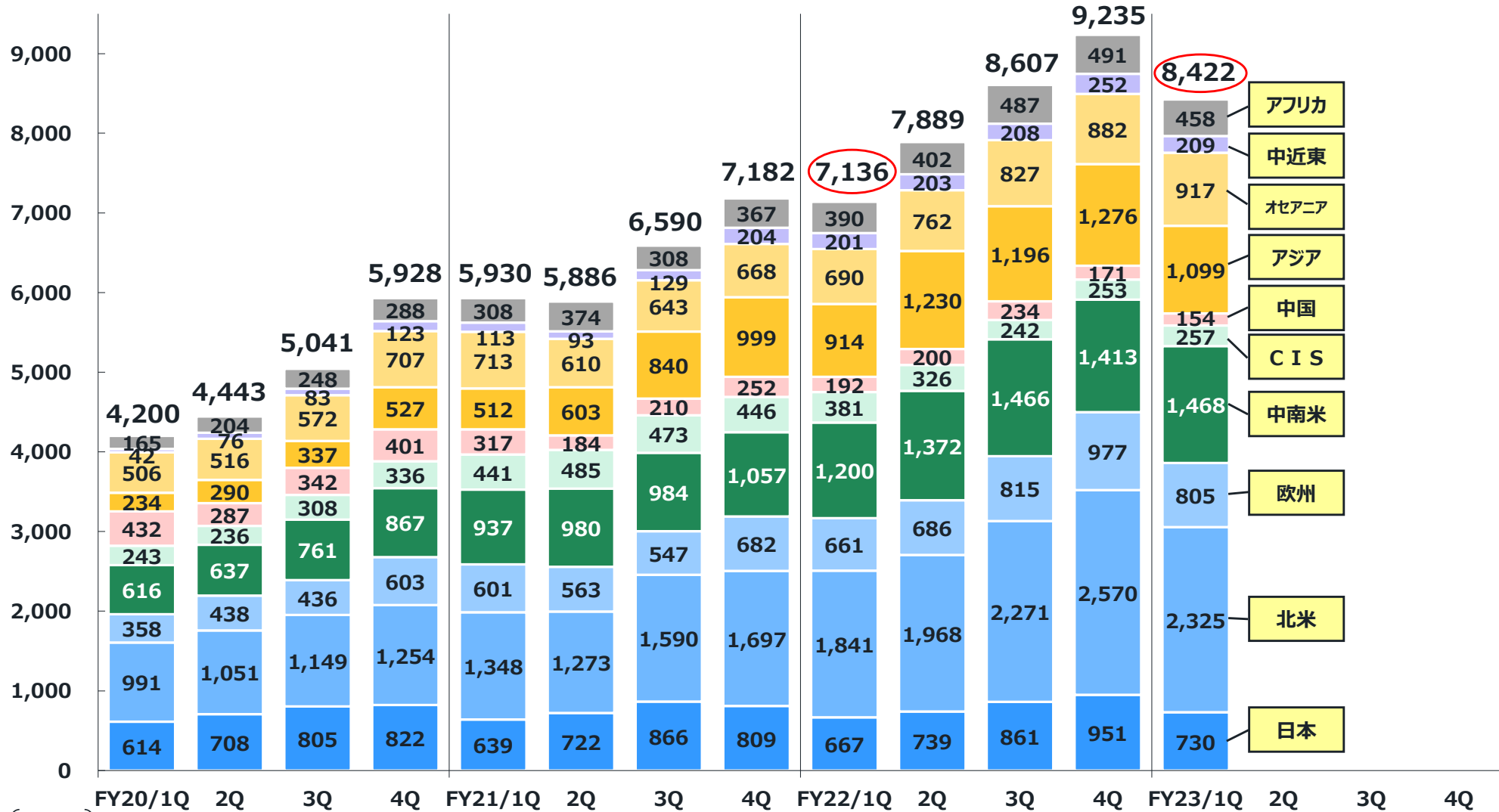
為替レート

	FY20/1Q				FY21/1Q				FY22/1Q				FY23/1Q			
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4			
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7			
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9			



【参考資料】〈建設機械・車両〉 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

(億円)

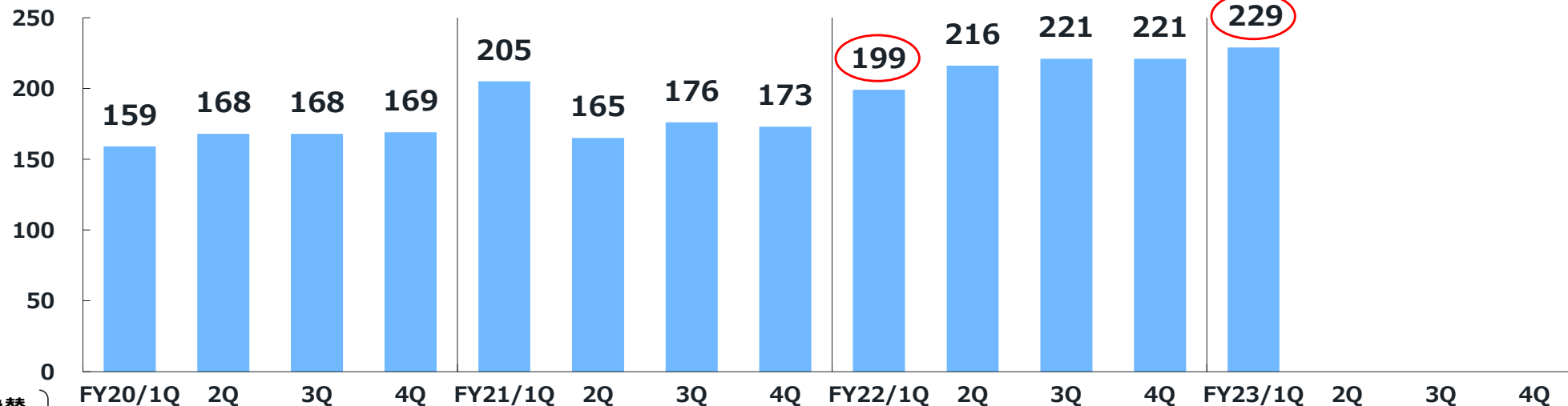


為替 レート	FY20				FY21				FY22				FY23			
	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4			
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7			
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9			

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

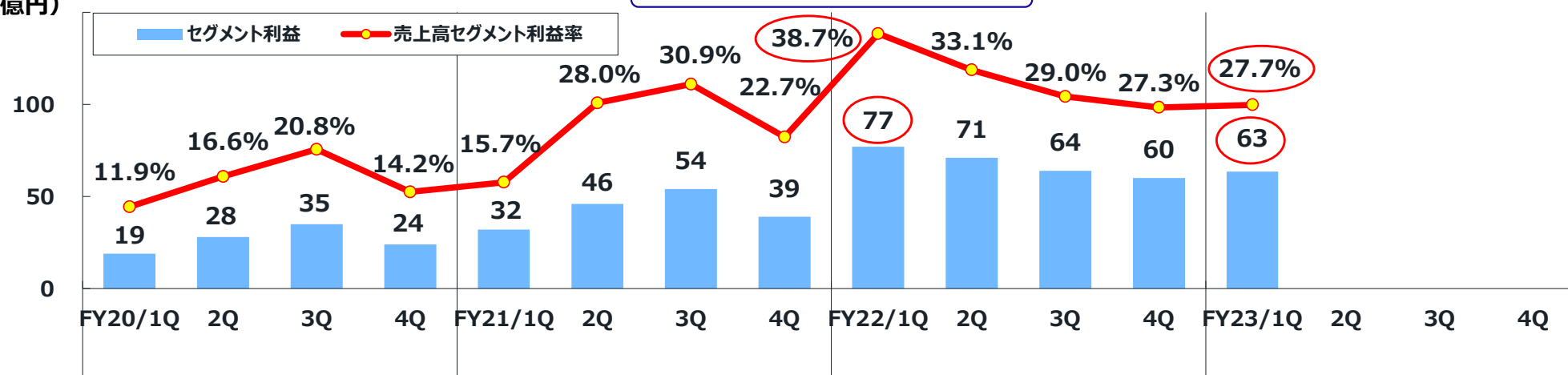


(為替レート)

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4			
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7			
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9			

セグメント利益

(億円)



【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

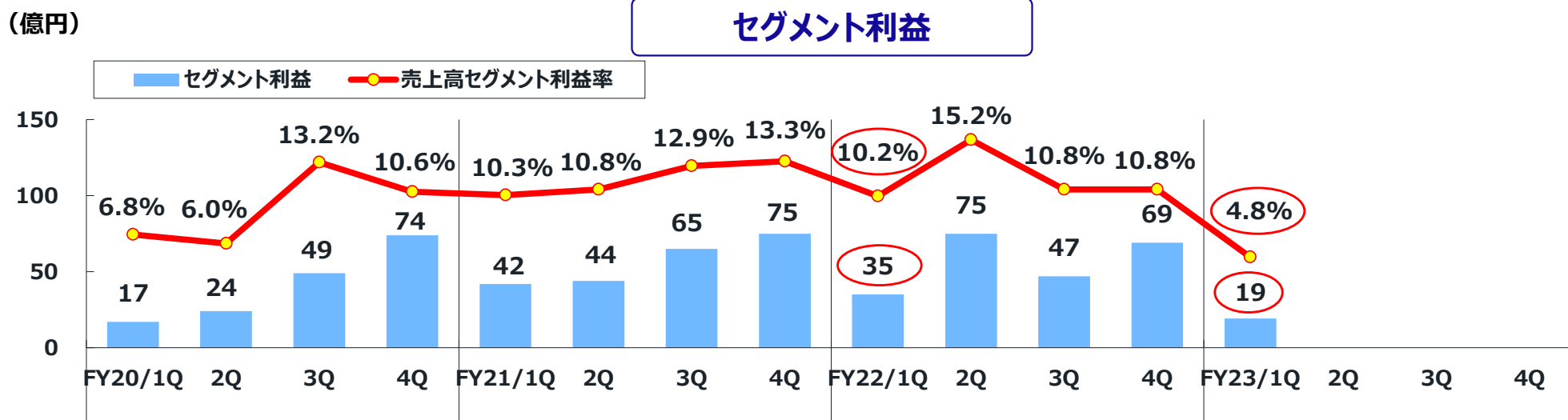
売上高



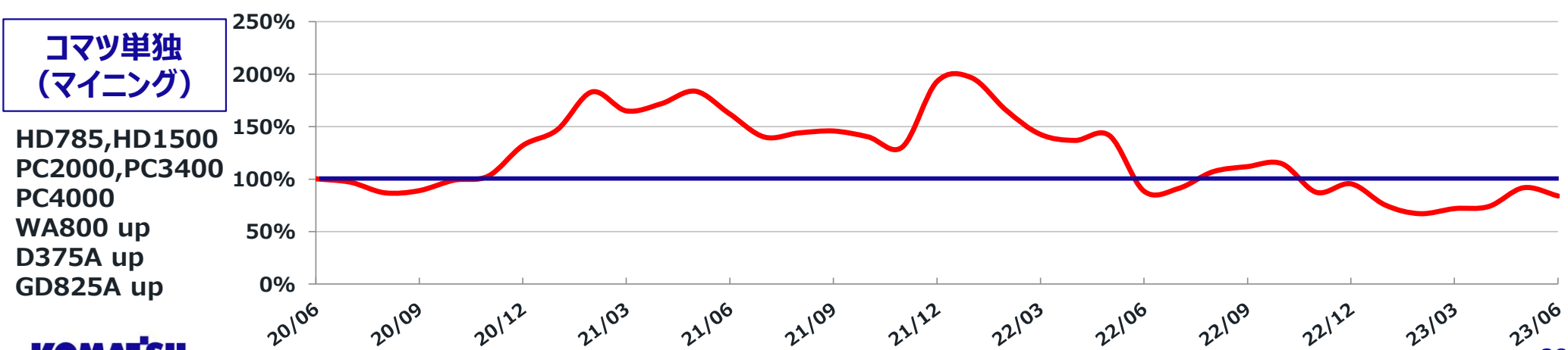
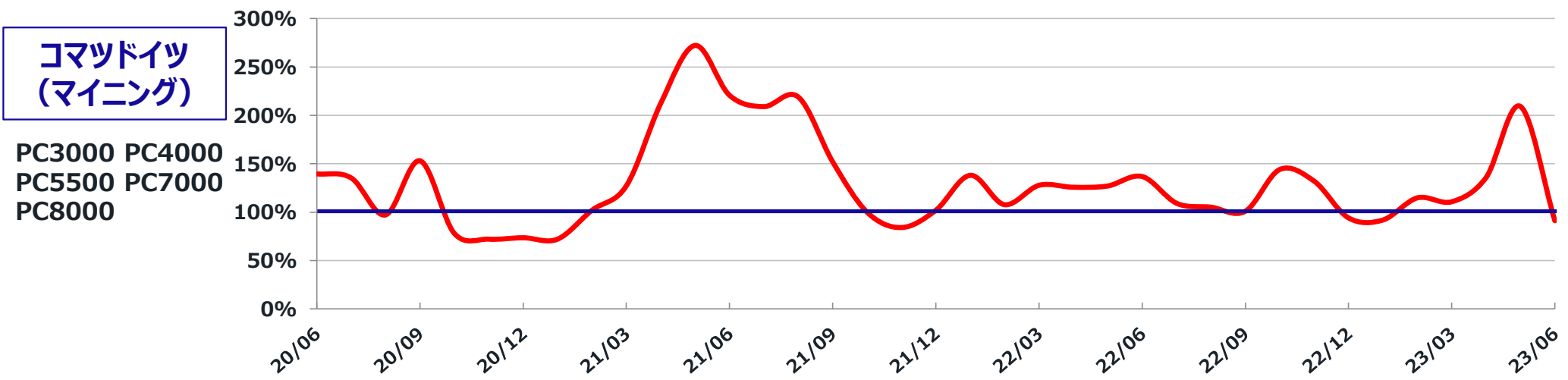
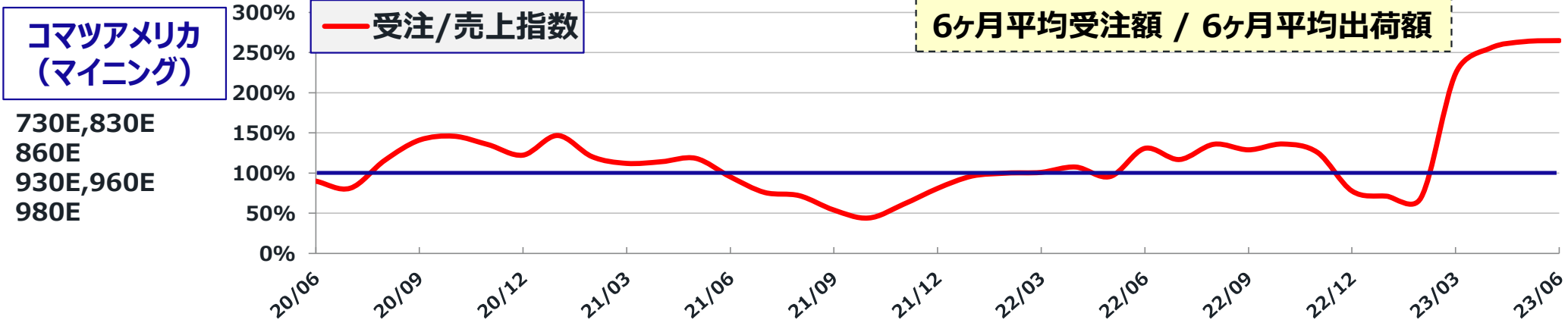
為替
レート

	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q
¥/USD	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4			
¥/EUR	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7			
¥/AUD	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9			

セグメント利益



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）



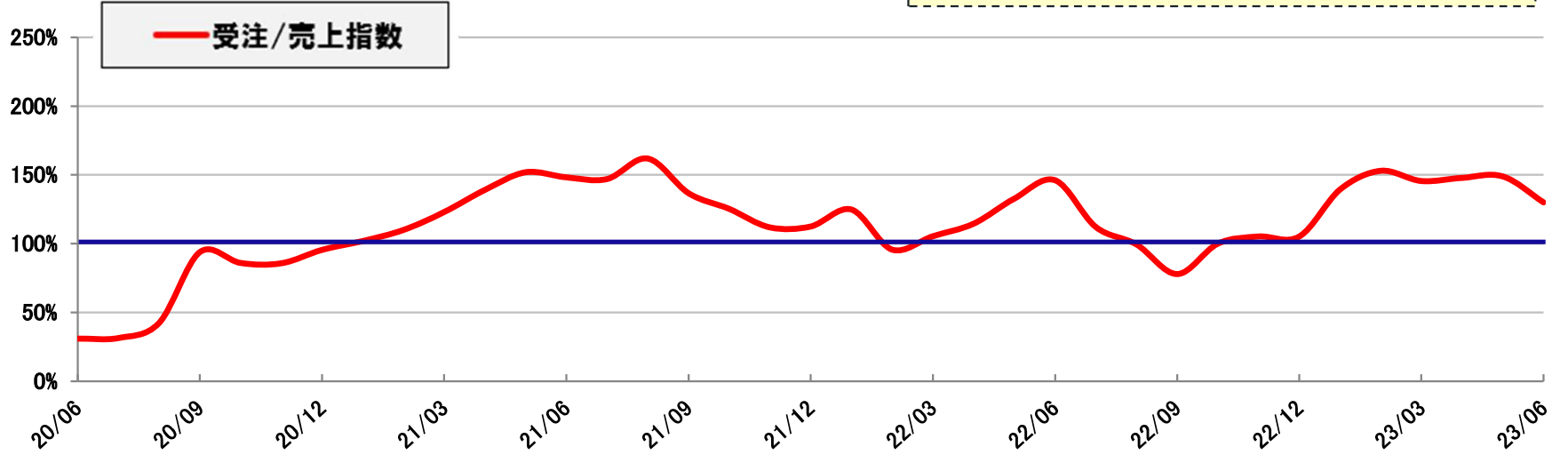
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

KMC (マイニング)

- <露天掘り>
- ロープショベル
- ブラストホールドリル
- ドラグライン他

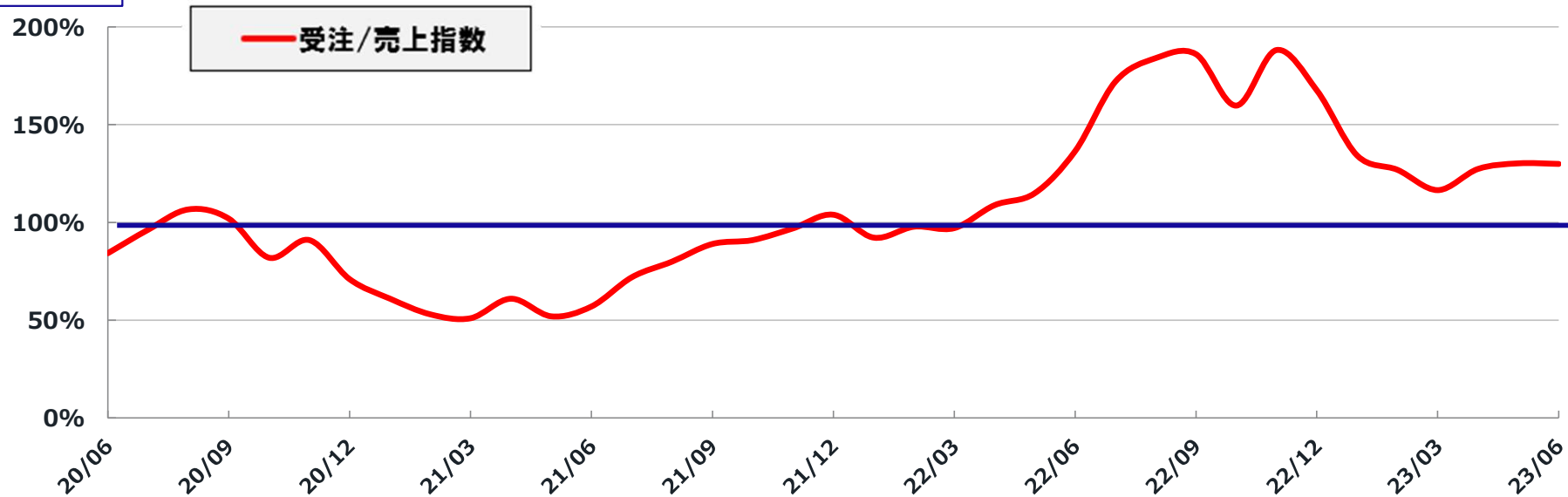
- <坑内掘り>
- コンティニューアスマイナ
- シアラー
- ロードホールダンプ
- ジャンボドリル他



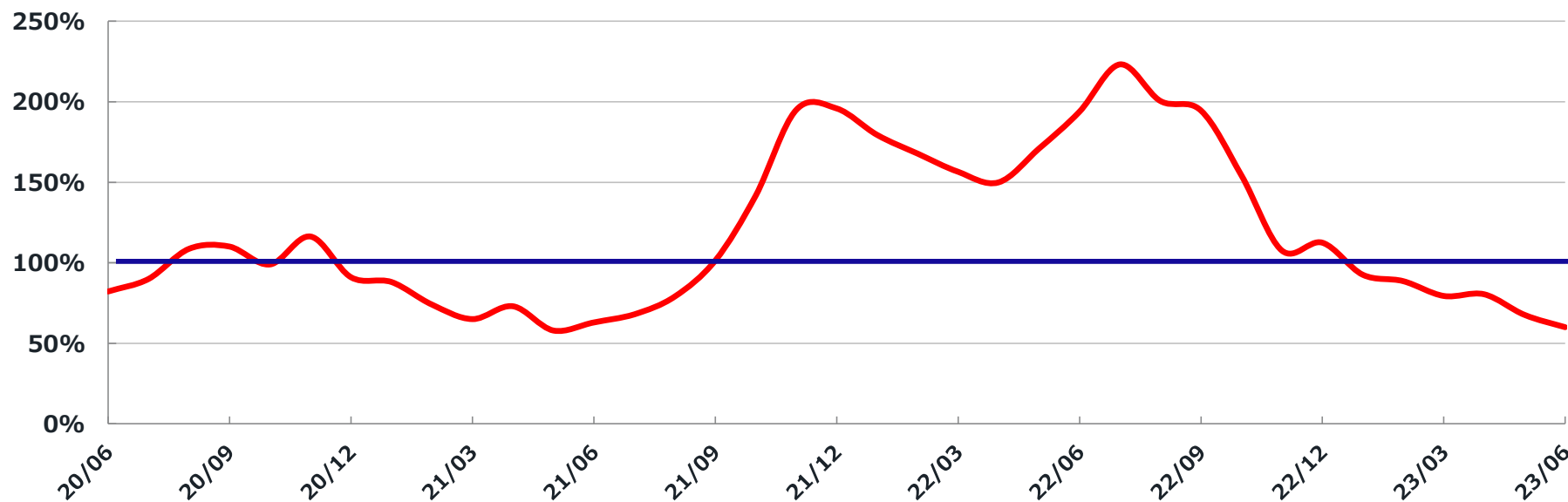
【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC



**-安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場の実現を加速-
水素燃料電池を搭載した中型油圧ショベルのコンセプトマシンを開発 実証実験を開始**

コマツは、建設機械の稼働現場におけるカーボンニュートラル実現に向けて、水素燃料電池とコマツが自社開発したキーコンポーネントを組み合わせた中型油圧ショベルのコンセプトマシンを開発しました。

(2023年5月12日 ニュースリリース)



水素燃料電池を搭載した中型油圧ショベルのコンセプトマシン

- 鉱山オペレーションのゼロエミッション実現を目指す - GHGアライアンスの連携を加速するイベント開催

コマツは、鉱山オペレーションにおける温室効果ガス（GHG）削減を加速するため、2021年8月に発足を公表した「コマツ GHG アライアンス」メンバーと共に、米国アリゾナ州ツーソンにあるアリゾナ試験場において、鉱山現場のGHG削減のための最新の情報を共有し、協力体制を強化するためのイベントを開催しました。

(2023年5月29日 ニュースリリース)



イベントに参加したGHGアライアンスメンバー

ダイナミックチャージングしながら
登坂走行するバッテリーダンプトラック



**-安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場をお客さまと共に実現-
Anglo American社のブラジル鉄鉱山で大型ICTブルドーザー遠隔操作の商用稼働を開始**

コマツは、資源大手Anglo American社と、鉱山向け大型ICTブルドーザー「D375Ai-8 遠隔操作仕様車」の商用稼働を2023年5月より開始いたしました。

(2023年6月13日 ニュースリリース)



ブラジルのMinas-Rio鉄鉱山で遠隔稼働するブルドーザー「D375Ai-8」

-電動化建機の市場形成を目指して-
3トンクラス電動ミニショベル/20トンクラス電動ショベルを市場導入

コマツは、リチウムイオンバッテリーを搭載した3トンクラスの電動ミニショベルの新機種と20トンクラスの電動ショベルを国内および欧州市場へ導入します。

(2023年7月18日・21日 ニュースリリース)



リチウムイオンバッテリー搭載
3トンクラス 新型電動ミニショベル



リチウムイオンバッテリー搭載
20トンクラス 新型電動ショベル
「PC200LCE-11」

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2022>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。